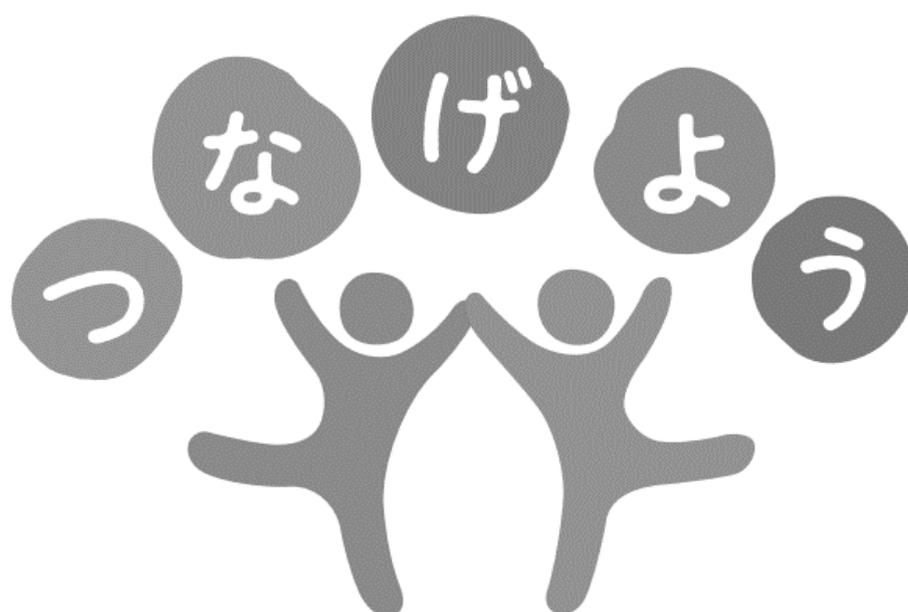


令和6年度
事務事業報告書



みんなの笑顔
みんなの未来

社会福祉法人えどがわ
令和7年6月会議用

【会 議】

(1) 評議員会・理事会

- ・評議員会運営規程及び理事会運営規程に基づき、議案の審査及び決議を行う。

会 議 名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
定 例 評 議 員 会	4 回	4 回	4 回
定 例 理 事 会	5 回	5 回	5 回
臨 時 会	未開催	1 回	1 回
主 な 議 案	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月期 ① 事業報告 ② 決算認定 ・ 9月期 ① 事業中間報告 ② 補正予算 ・ 12月期 ① 事業計画 ② 給食事業者選定 ・ 3月期 ① 当初及び補正予算 		

(注)全期……必要に応じて規程関係及び補正予算(案)あり

(2) 幹事会・各園長会

- ・組織規程に基づき諸会議を開催する。

会 議 名	開 催 日(原則)	参 加 メ ン バ ー
幹 事 会	毎月第一木曜日の午後	局長・次長2人・監事園長2人 計5人
園 長 会	毎月第二木曜日の午後	局長・次長2人・全園長 計25人
チ ー ム 園 長 会	毎月第四木曜日の午後	3チームごと又は全体会として開催

【人事厚生関係】

(1) 総職員数

- ・各園最低1人の増員となるように、採用及び離職防止に努力する。

区 分	令和5年度当初	令和6年度当初	令和7年度当初
職 員 数	434人	423人	430人
採 用	38人	28人	46人
退 職	46人	39人	30人
増 減	△6人	△11人	+16人

(2) 採用職員

- ・例年同様に8月より毎月1回程度の採用選考を実施していく。

区 分	令和5年度当初	令和6年度当初	令和7年度当初	
採 用 職 員 数	34人	28人	46人	
4月1日採用 年 中 採 用	32人	23人	46人	
	2人	5人	0人	
	うち学卒者	16人	13人	31人
	うち経験者	18人	15人	15人
	うち男性	1人	2人	3人
	うち女性	33人	26人	43人

(3) 退職職員

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
退職職員数	44人	39人	41人
年度末退職	38人	31人	30人
年中退職	6人	8人	11人

(4) 職員の任命(昇任)

・公平公正な選考を心掛けるとともに、引続き副主任昇任選考は筆記選考とする。

区 分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
園長昇任	2人	1人	0人
副園長昇任	2人	2人	5人
主任昇任	3人	3人	3人
副主任昇任	9人	7人	6人
(受験該当者)	(107人)	(106人)	(106人)
(受験者)	(28人)	(21人)	(22人)
上級職昇任	19人	30人	22人

(5) 職員健康診断

・可能な限り拠点によるバス健診を継続するが、将来は全職員のセンター健診としたい。

区 分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
受診者数	581人(100.0%)	596人(100.0%)	576人(100.0%)
所見あり	314人(54.0%)	336人(56.4%)	345人(59.9%)
再検査	209人(36.0%)	233人(39.1%)	242人(42.0%)
精密検査	100人(17.2%)	118人(19.8%)	110人(19.1%)

(6) ストレスチェック

・引続き実施し、健康リスクの低減を図る。

区 分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
量・コントロール	105	107	106
職場の支援	91	94	95
総合健康リスク	95	100	100
最大健康リスク園	123	136	118
最小健康リスク園	78	69	76

(7) 法人独自加入保険給付

・職員にとって更に有益な保険等はないか研究・検討を進める。

区 分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
施術給付	1件	5件	3件
給付額	18,750円	1,036,821円	578,421円
ケガ給付	1件	0件	0件
給付額	250,000円	-----	-----
コロナ	69件	0件	0件
給付額	564,525円	-----	-----

(8) 傷病手当金申請数

・申請漏れなどの確認を行うとともに、適正な申請を行っていく。

区 分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
正 規 職 員 申 請	6人	13人	7人
延 申 請 件 数	17件	28件	9件
非 常 勤 申 請	2人	3人	1人
0 件	11件	4件	1件

(9) 居住地の状況(住民税納付場所)

・納税の義務や責任を果たしていく。

区 分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
江 戸 川 区	430人	422人	392人
江 東 区	11人	9人	9人
葛 飾 区	16人	15人	15人
他 区	9人	10人	6人
千 葉 県	42人	43人	46人
埼 玉 県	2人	1人	2人
そ の 他	0人	0人	0人

(10) 産休者・育休者及び短時間勤務者・固定勤務者

・制度周知を進めるとともに、更に使いやすい制度改正や新制度創設の研究を進める。

区 分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
総 職 員 数	439人	434人	415人
産 育 休 者	38人	33人	34人
産 育 休 割 合	8.7%	7.6%	8.2%
短時間・固定勤務者	37人	42人	47人

(11) 介護休業者

区 分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
総 職 員 数	0人	1人	0人

(12) 住宅借上げ利用状況

・社宅である旨の制度周知をするとともに、必要な届出等を勧奨していく。

区 分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	
利 用 職 員 数	172人	163人	164人	
事 業 費	賃 借 料	163,706,995円	165,601,709円	158,270,922円
	共 益 費 等	9,357,407円	9,469,112円	9,483,899円
	総 支 出 額	173,064,402円	175,070,821円	167,754,821円
財 源	補 助 金	131,521,000円	131,441,000円	123,633,000円
	本 人 負 担 額	22,722,800円	24,826,800円	26,429,200円
	法 人 負 担 額	18,820,602円	18,741,0212円	17,692,621円

【給与関係】

(1) 例月支給額

・誤支給等が無いように勤怠情報等の確認を園と本部で適正に行う。(注)各年度4月分支給実績

区 分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
総支給人数	415人	415人	410人
給 料	94,858,700円	96,329,400円	103,266,700円
調 整 手 当	11,383,044円	11,559,528円	15,490,005円
処遇改善手当(率)	6,587,014円	6,667,120円	6,980,454円
処遇改善手当(定額)	11,695,000円	11,715,000円	11,621,250円
役 職 手 当	4,807,935円	4,864,155円	7,072,210円
総 支 給 額	129,331,693円	131,135,203円	158,024,843円
平 均 支 給 額	311,642円	315,988円	385,426円

(2) 平均年収

・公定価格や各種補助金の増減に連動した給与体系を確立していく。 ※()は下記注意書きを含む額

区 分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
全 平 均	4,840,509円	(5,106,998円)	(5,589,101円)
		4,897,908円	5,175,806円
		下記注意書きを別途支給	下記注意書きを別途支給

(注)ベア完全実施+5.2%
特別手当16万円+給料の10%
期末勤勉手当+0.1月分

(注)特別手当11月:月給に対し
支給(20万円~12万円)
2月:基本給÷2+15万円
期末勤勉手当+0.1か月分

(3) 期末勤勉手当支給月数

・規程上の成績給支給が可能となるように、管理職評価基準の適正化を進める。

区 分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
6月	期末手当	1.0月	1.05月
	勤勉手当	0.8月	0.85月
12月	期末手当	1.05月	1.10月
	勤勉手当	1.05月	1.10月
3月	勤勉手当	0.5月	0.5月
計	期末手当	2.0月	2.15月
	勤勉手当	2.3月	2.45月
	計	4.3月	4.4月

(注)H29年4月に支給月数+0.1月、R2年4月に期末・勤勉の支給割合変更

【規程類関係】

(1) 新規制定及び改正

・法律の新設及び改正や法人の必要性に応じて規程類の新設・改正・廃止を行う。

区分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
新 設	<ul style="list-style-type: none"> ・育児・介護休業等に関する規程 ・ハラスメント防止規程 ・個人情報保護に関する基本方針 ・個人情報保護規程 		<ul style="list-style-type: none"> ・短時間勤務職員就業規則
改 正	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤賃金(最低賃金) 	<ul style="list-style-type: none"> ・給与規程 冬ボーナス0.1月引上 調整手当を15%に改定 役職手当を職層手当に名称変更、初級職に月額5,000円支給、他の職層手当を5,000円増額 夏ボーナス0.1月引上 ・非常勤賃金 最低賃金を改定 処遇改善手当を6%に改定 	<ul style="list-style-type: none"> ・育児・介護休業等に関する規程：子どもが就業前まで短時間・固定勤務を選択可能とし、法人独自制度として法人が認める職員は小学校2年生の年度末まで延長 ・就業規則：採用例外規定の削除/65歳定年制導入 ・給与規程：短時間・固定勤務職員の適用給与を学年により2号級下位、4号級下位に改定/給与表（給与表別表1）を国家公務員福祉職給与表の改定率に準じて改定/昇給幅の縮小年齢を満55歳以上から満60歳以上に改定 ・非常勤職員の採用時賃金及び昇給等の内規：月額陳甚基準表（別表1）を正規職員の給与表に準じて改定/時給制賃金単価の単価改定 1時間当たり100円・80円の単価増額/満65歳以上職員の昇給停止導入
廃 止		<ul style="list-style-type: none"> ・被服貸与規程 	

【研修関係】

(1) 法人必修研修

・法人研修計画(キャリアアップ計画)に従って職層別を実施する。

区 分	令和5年度実績	令和6年度実績
新 任	・「愛着」について 参加 22 人 ・法人理念「養護」について理解を深める 参加 32 人	・ビジネスマナー 参加 12 名 ・ビジネスマインド 参加 9 名
一 般 (1～4 年 目)	・「愛着」について 参加 119 人	ビジネスマインド 参加 15 名 ジョブクラブティン グ 参加 22 名
一 般 (5 年 目 以 降)	・心地よい生活環境と子どもの自発性を育む保育 参加 66 人	伝わる伝え方 参加 99 名
リ ー ダ ー	・子どもの遊びを高める大人の関わり 参加 76 人	オーナーシップ 参加 101 名
副 主 任	・配慮や支援を大切にした関わり／子どもの育ちを支える連携 参加 56 人	フォロワーシップ 参加 58 名
副 園 長 主 任	・配慮や支援を大切にした関わり／子どもの育ちを支える連携 参加 32 人	次世代リーダー 参加 62 名
管 理 職	・配慮や支援を大切にした関わり／子どもの育ちを支える連携 参加 25 人	管理職研修 23 名

(2) 東京都・江戸川区等のキャリアアップ研修

・職層に応じた国の研修基準であり、法人も国基準に準拠して受講を進めていく。

区 分	令和5年度	令和6年度	累積資格者数
マ ネ ー ジ メ ン ト	6 人	25 人	59 人
乳 児 保 育	4 人	6 人	42 人
幼 児 教 育	5 人	15 人	34 人
障 害 児	8 人	5 人	23 人
食 育 ・ ア レ ル キ ー	3 人	5 人	15 人
保 健 衛 生 ・ 安 全	0 人	4 人	11 人
保 護 者 ・ 子 育 て 支 援	5 人	4 人	26 人

(3) 外部研修及び園内研修等

・外部研修の活用や法人が時代に応じた研修テーマと講師を選定して実施していく。

区 分	令和5年度実績	令和6年度実績
外 部 研 修	<ul style="list-style-type: none"> ・防災研修(江戸川区) ・新人保育士(江戸川区) ・衛生推進者(労基連合) ・リーダー研修(私保園長会) ・危機管理(私保園長会) ・発達支援(江戸川区) 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災研修(江戸川区) ・新人保育士(江戸川区) ・発達支援(江戸川区) ・環境研修(私保園長会) ・リーダー研修(私保園長会) ・運動遊び(私保園長会) ・感染症(私保園長会)
園 内 研 修	<ul style="list-style-type: none"> ・AED研修 ・嘔吐処理券集 ・不審者対応研修 ・不適切保育研修 ・各園に応じた研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・AED研修 ・嘔吐処理券集 ・不審者対応研修 ・不適切保育研修 ・各園に応じた研修
そ の 他 研 修	<ul style="list-style-type: none"> ・職層別研修(法人) ・給食研修(法人) ・理念園目標研修(法人) ・気になる子研修(江戸川区の巡回及び法人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・職層別研修(法人) ・気になる子研修(江戸川区の巡回及び法人) ・財務研修

【財務関係】

(1) 予算計上状況

・年度間予算を当初計上し、必要に応じて過不足の補正予算を計上する。

区 分	令和5年度実績	令和6年度実績	
収 入	当 初 予 算	4,614,069 千円	4,674,085 千円
	補 正 1 号	174,538 千円	129,695 千円
	補 正 2 号	60,399 千円	161,747 千円
	補 正 3 号	261,160 千円	331,667 千円
	最 終 予 算 額	5,110,166 千円	5,297,204 千円
支 出	当 初 予 算	4,542,732 千円	4,580,325 千円
	補 正 1 号	305,680 千円	231,570 千円
	補 正 2 号	△90,704 千円	61,508 千円
	補 正 3 号	197,404 千円	636,986 千円
	最 終 予 算 額	4,955,112 千円	5,510,389 千円
差 引	当 初 予 算	71,337 千円	93,760 千円
	補 正 1 号	△131,142 千円	△101,875 千円
	補 正 2 号	151,103 千円	100,329 千円
	補 正 3 号	63,756 千円	△305,309 千円
	最 終 予 算 額	154,954 円	△213,185 千円

(2) 決算状況

・決算調整後に様々な分析を行い、当初予算編成や健全財政維持に活用していく。

区 分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
収入総額	4,804,432,287円	5,156,422,258円	5,324,541,499円
支出総額	4,675,055,351円	4,863,971,151円	5,374,745,431円
収支差額	129,376,936円	292,451,107円	△50,203,932円
実質収支差額	244,376,936円 ※積立115,000,000円	292,451,107円 ※15園の収支差額1億9千 万円を本部へ移転した	319,796,068円 ※積立370,000,000円

(3) 積立金の状況

・不測の事態や将来のために適正な範囲で資金積立を行う。

区 分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
前期末積立金	2,074,000,000円	2,189,000,000円	2,189,000,000円
今期	積立金	115,000,000円	0円
	取崩し	0円	0円
今期末積立金	2,189,000,000円	2,189,000,000円	2,559,000,000円

(4) 財務分析

・決算調整後に様々な分析を行い、当初予算編成や健全財政維持に活用していく。

区 分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
流動比率	257.6%	303.6%	324.8%
純資産比率	85.2%	85.3%	79.0%
人件費率	62.4%	63.9%	65.1%
委託費率	10.5%	10.3%	10.3%
人件費率+委託費率	72.9%	74.2%	75.4%
固定長期適合率	84.6%	78.5%	81.1%
経常活動収支差額率	5.0%	5.6%	5.2%
労働分配率	82.5%	83.5%	83.8%

(5) 仮払い・小口現金

・必要最低限な現金管理となるように各園と協議の上、改善を図っていく。

区 分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	
仮払い	執行件数	146件	275件	250件
	執行額	2,477,023円	9,506,622円	5,084,544円
	1件単価	16,966円	34,570円	20,338円
小口現金	執行件数	51件	58件	86件
	執行額	2,282,000円	2,458,000円	3,731,000円
	1件単価	44,745円	42,379円	43,384円

【監査関係】

(1) 江戸川区指導検査

・江戸川区児童福祉施設等指導検査実施要綱に基づき毎年全園が検査を受ける。

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実 施 園 数	予 定 23園 実 施 23園	予 定 23園 実 施 23園	予 定 23園 実 施 23園
文 書 指 摘 事 項	指 摘 2園 毎月の消火訓練 毎月の避難訓練等	指 摘 なし	指 摘 1園 毎月の消火訓練
備 考		令和5年12月12日 ～ 令和6年1月31日	

(2) 法人巡回監査

・会計処理の適正化や財務規律の強化を図るため年2回、全園巡回監査を実施する。

区 分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
第 一 回 目	10月3日～10月19日 対 面 式	10月13日～10月31日 対 面 式	8月27日～9月25日 対 面 式
第 二 回 目	11月15日～12月13日 対 面 式	11月14日～12月12日 対 面 式	11月12日～11月27日 対 面 式
主 な 調 査 内 容	・園の特長付け ・固定資産台帳等管理 ・現金等管理など	・財務諸表・予実管理 ・経営論など ※園長研修を実施	・財務諸表・予実管理 ・現金等管理など ※園長研修を実施

(3) 会計監査人監査

・年1回の決算期に法定監査人である会計監査人監査を受け、評価を得る。

区 分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
実 施 状 況	令和5年5月24日 延44日	令和6年5月27日 延53日	令和7年5月28日 延53日
監 査 結 果	無限定適正	無限定適正	無限定適正
備 考	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算

(4) 監事監査

・年1回の決算期に法人監事の監査を受け、評価を得る。

区 分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
実 施 状 況	令和4年5月24日	令和6年5月27日	令和7年5月29日
監 査 結 果	正しいと認める	正しいと認める	正しいと認める
備 考			

【保育園運営】

(1) 年齢別在園児数(年度当初)

- ・地域の保育ニーズ、施設現況及び配置職員等を勘案し適正な利用定員を設定していく。

区 分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績	
利用定員	2,871人	2,837人	2,783人	2,647人	
在籍状況	1歳児	483人	476人	446人	447人
	2歳児	542人	540人	512人	503人
	3歳児	553人	550人	532人	529人
	4・5歳児	1,160人	1,131人	1,081人	1,068人
在籍児童の計	2,738人	2,697人	2,571人	2,547人	
児童在籍率	95.4%	95.1%	92.4%	96.2%	

(2) 特別保育事業(年度当初)

- ・課題となっている延長保育の利用者減と一時保育の再開について研究・検討を進める。

区 分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績
延長保育	201人	187人	178人	293人
一時保育	※平成30年より休止中			

(3) アレルギー食と宗教食

- ・医師の指示書により適正な提供を心掛ける。

(注)カッコ内は在籍割合

区 分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
アレルギー食提供	83人(3.03%)	84人(3.11%)	59人(2.29%)
うち弁当持参	1人	0人	0人
宗教食提供	14人(0.51%)	21人(0.78%)	21人(0.86%)
うち弁当持参	4人	3人	6人
計	97人(3.54%)	108人(4.00%)	87人(3.38%)
投薬のため除去提供	1人	1人	1人
家庭の事情	0人	0人	0人
障害児(ダウン症)	0人	1人	1人

(4) 障がい児保育と気になる子

(注)カッコ内は在籍割合

区 分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
障がい児(認定児)	73人(2.67%)	81人(3.00%)	84人(3.28%)
気になる児童	67人(2.44%)	47人(1.74%)	121人(4.72%)
計	140人(5.12%)	128人(4.75%)	205人(8.01%)

(5) 第三者評価と利用者調査の実施状況

・3年毎に第三者評価、利用者調査は毎年実施し、保育の質の向上を図る。

区 分	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
第 三 者 評 価	7園	5園	11園
利 用 者 調 査	16園	18園	12園
平 均 満 足 度	92.9%	93.2%	94.0%

(注)満足度は、五段階評価の「大変満足」と「満足」を加算した率

以下、必要に応じて追加・修正・削除をしていきます。

1. 保育園目標の具体的な取り組みについての総括

- ・遊びにじっくり取り組めるように、年齢や発達に応じた遊具や玩具の見直し、提供、環境を整えた。
- ・「やってみよう」と言う気持ちを大切に、遊び込めるように工夫、何事にも挑戦出来る環境を整えることが出来た。(やってみようのこころ)
- ・職員がどの様な保育をしたいのか、意見や思いを会議等で話し掘り下げ、研修や報告を行った。
- ・保育の環境をクラスごとに考えることで、保育士の思いが多く反映されてしまうことがあり、保育園として、どのような環境がよいのかを保育園全体で考えて環境を変えた。
- ・体育、英語あそびとして、外部講師と保育士とでカリキュラムの共有をしっかりと行い、通年を通して子どもと楽しむことが出来た。
- ・「心の響育」という目標を意識し、子どもの気持ちを受け止め、必要な関りを意識する為、職員は研修、職員会議等で、年齢に応じた関わりをどのようにしていくか話し合った。

2. 選ばれる保育園づくりのための実践内容

- ・子育てひろば、外部に出た出前保育の実践
- ・一人一人を大切に年齢に応じた保育の実践
- ・小学校との連携、学校行事に参加、1年生との交流会、保護者会にて校長先生来園
- ・見学少人数(3名～5名)丁寧に説明が出来るようにしている。
- ・地域保育園、コミュニティ、障害施設、出入り業者との交流
- ・外部講師(体育、英語)と子育てひろばの利用

3. 利用者アンケート 評価と改善

- ・回収率62.6%総合評価は、94%と満足度は高かったが、特定の職員の態度や言葉使い、伝達ミス等が自由記載箇所に記載されていた。改めて信頼関係の大切さを痛感、再度保護者との関係性を深めていけるよう取り組む。特に保護者から、合同保育時や延長時に保育の事や様子を聞きたいという思いがある為、当番に入る日は、積極的にコミュニケーションを取る。
- ・「多くの子どもがいる中で、一人一人をしっかりと見て頂き感謝しています。」「職員の皆さん温かく、担任の先生以外も名前を覚え声を掛けてくださりアットホームな雰囲気です」「保育施設内の清掃が行き届いている。」等温かい言葉を頂いた。

4. 職員アンケート 評価と改善

- ・子どもに負担が無い方法で行事を行えるようになった。
- ・保育のドキュメンテーションを行い、保護者の方に各クラスの子どもの様子や成長の過程を知ってもらい、共有するツールとなった。
- ・異年齢児で遊ぶことで、クラスの垣根を越えて、子どもに寄り添った活動を行えている。
- ・職員間のコミュニケーションがスムーズ
- ・環境構成の面では、お互いの理解の共有に難しさがありイメージが共有できれば年齢に応じた環境づくりがスムーズに行える等を話し合い、少しずつではあるが同じ方向に進んでいる。継続して研修や会議で進めていく。

5. 施設改修と固定資産物品の購入内容と効果

- ・5歳児クラスの個人用机と椅子の購入
小学校への期待を持ち、丁寧に使用し集合して斑活動や話し合いの場や集中して遊びたい時に活用する。

1. 保育園目標の具体的な取り組みについての総括

・月1回、ワクワクデーと称して主活動の時間を幼児が自ら遊びを選びじっくり楽しむ取り組みを行った。子どもが自ら考え行動できる時間を確保することができたと共に、幼児クラスの子どもの特徴や得意分野等を職員同士で共有できるようになり、一人一人あった関わりが定着してきた。(やってみようのこころ)
・散歩、素材遊び、食育(クッキングを含む)を通して五感を感じる機会を保育の中に取り入れた。
・活動した内容は、園児管理システムやホームページで公開し、園内ドキュメンテーションを活用、保育士の目線から子どもたちの成長がわかるポイントを加えて掲載し、子どもの成長に対して、保護者との共有できた。
・保育感が共有できるよう話し合える場を多く持った。会議の際には発表者の意見を尊重し認め合う雰囲気を大切にすることで、意見が飛び交うようになり関係も良くなった。

2. 選ばれる保育園づくりのための実践内容

・年長児が園を代表して近隣の高齢者施設に訪問し、お神輿を披露し地域との交流を図った。
・様々な食育活動や園内でのイベントを積極的にホームページに掲載した。
・子育てひろばは、園の行事やイベントに合わせることで園の雰囲気を感じてもらえ、リピーターも増えた。
・近隣や、散歩時の挨拶等、しっかり行えるよう努めた。

3. 利用者アンケート 評価と改善

・「保育の質が上がっている」、「色々ブラッシュアップしている」等の意見もある一方、送迎時に伝達で、出来ない等、職員の差が感じるとの意見があった。職員会議の中で、伝達がなかったとしても自分が関わった時間の様子を伝えられるよう周知した。今後も意識づけ必要と感じる。また全職員が気持ちの良い挨拶ができるよう心がけたい。
・行事の日程が早めに知りたい、詳細の連絡が遅いなどの意見もあった為、早めにお知らせすることを心がけ保護者が行事に参加しやすいようにする。

4. 職員アンケート 評価と改善

・働きやすい職場づくりをするために目標を立て、こまめに現状を話し合い気持ちを一つにしようと協力してきたこともあり職員関係は良好との意見が多かった。休憩は見える化したことにより、助け合いの姿が多くみられている。
・異動者が多かった為、既存職員との保育感が共有できるよう話し合える場を多く持った。会議の際には発表者の意見を尊重し認め合う雰囲気を皆で大切にすることで意見が飛び交うようになり、意見が出しやすいという評価に繋がった。今後も職員の意見を柔軟に取り入れながら共に取り組んでいきたい。

5. 施設改修と固定資産物品の購入内容と効果

・4歳児イス、3歳児テーブル…古くささくれた箇所でのケガがなくなり、部屋のイメージも明るくなった。
・音響用アンプ…携帯用アンプの更新。
・事務所の書庫…扉のレールがなく、開けづらかったが扉を取り換えたことで開閉がスムーズになった。
・保育室用パーテーション…性被害防止対策に係る設備等支援事業補助金にて購入。幼児の着替え時に使用している。

1. 保育園目標の具体的な取り組みについての総括

・園目標を職員が意識し保育を進められる様、具体的なポイントを伝える研修を行った。職員自身が感謝の気持ちを持てるよう、普段当たり前に感じていることで感謝すべきことはあるかという職員研修を行った。普段気付くことのない小さな気付きがあり、職員同士でも感謝し合えるよう意識を向けていった。保育の中で「ありがとう」が増えることは、子ども達がどの場面で「ありがとう」を伝えれば良いかを知る機会に繋がっている。(ありがたいところ)

・感じることややってみようという前向きな気持ちを子ども達が持つには、職員の言葉選びが重要であるという研修も行った。言葉掛けの癖を直すには時間がかかるが、子ども達自身が考えられるような声の掛け方(オープンクエスチョン)を習慣付けていけるよう、引き続き研修をしながら取り組んでいきたい。(かんじるころ)

・「子どもを中心に考える」ことを視点に保育を進めるために、クラス会議を充実させた。担任個々の保育が習慣化され、クラス会議に重点を置くことが出来ないクラスもあった。クラス会議が充実しているクラスは、担任同士保育の取り組みが共有されており、子どもの心の育ちがとても良かった。(やってみようのころ)

2. 選ばれる保育園づくりのための実践内容

・子育てひろばのリピーターを増すために、一人一人に丁寧な声掛けが出来るよう少人数で行うようにした。夏祭りの行事にも参加していただき、園の取り組みをより伝わるプログラムも取り入れた。ねらい通りリピーターが増え、入園にも繋がるケースが多くあった。

・見学では保育目標が変わった点や更に体育あそびを取り入れた点を説明し、東小松川の特徴でもある広い園舎と園庭をエピソードを踏まえながら説明をした。見学からも入園申し込みに繋がるケースが多く、入園できない方も多くいた。

・実際に園を利用している方からの口コミが一番大事であると感じているが、見学には「評判が良い」と聞いて来る方が多かった。クラス会議を充実させ、子どもを中心に考えた保育の取り組みや丁寧な保護者対応が評判の良さに繋がっていると感じる。

3. 利用者アンケート 評価と改善

総合的な感想では、満足以上が88.7%だった。自由意見では、保育園全体で子どもを見ていると感じる」「基本理念を実践しており、安心して預けられる」「担任以外でも安心して任せられる」「臨機応変に対応してくれる」等、良い感想が殆どだった。項目別では、「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか」「保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか」が94.3%、「施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか」で90.6%が「はい」と回答しており、満足度が高いという評価をいただいた。保育を充実させることは、子ども達の楽しいに繋がり、保護者が更に安心出来ることになるので、この評価に満足せず更に向上出来るよう職員と取り組んでいく。

4. 職員アンケート 評価と改善

会議の質が上がった。園だよりなどで保護者へきちんと周知していると感じる。改善点において、対処が早くなり、かつ全体への周知がスムーズになった。情報共有が円滑に行われるようになった。休憩時間などを職員全員が平等に取得出来るようにしてくれる等、改善された点はあるものの、一方で職員数が足りないと感じている職員が多く余裕がないという意見があった。職員数は決して足りないわけではないが、手帳を持っている配慮が必要な児が多く人手不足に感じているようだ。もっと、各クラスの情報を共有しながら更に助け合える体制を作っていく。

5. 施設改修と固定資産物品の購入内容と効果

6月、経年劣化によるホール扇風機の取り換え。
7月、故障による多目的ルームの空調取り換え。
12月、屋上が洗濯場になっていたため、洗濯室を教材室内に設置。
1月、防犯を強化する為園舎周りのフェンスと園庭門、職員門を160cmの高さのあるものに取り換え工事
3月、空気の流れのせいで、給食室の換気扇使用中はドアが開かない為、扉2枚を風が通るタイプに取り換え工事

1. 保育園目標の具体的な取り組みについての総括

・新たな保育目標をしっかりと共通理解する為に、年度当初に自園での「具体的な取り組み」について話し合い、共通認識で進めた。毎月の職員会議では反省を踏まえ、今月の「わくわく写真」を提示し、全職員で共有した。目標を見失うことなく確認しながら進めた。

・挨拶、感謝を言葉で伝える、戸外での全身運動と自然との触れ合い、異年齢児交流やごっこ遊びの充実等、想像力を膨らませ、子どもの興味関心に寄り添って保育が出来た。また、保護者や地域に、わくわくが伝えられるように、ウエルキッズやホームページを活用、発信し、保育内容の周知を図った。

・保育環境の見直しや土曜保育について等、園内研修を実施、全職員で共通理解をして進めることで、振り返りをしながら安全な保育を提供できた。

2. 選ばれる保育園づくりのための実践内容

・障がい者施設、小中学校との積極的な地域交流を実施、園児、保護者双方に安心材料となった。

・障がい者施設とポッチャやフライングディスク等を一緒に楽しみ、無理なく交流が出来た。小学校とは2年生が中心となり、近隣保育園と一緒に小学校体験をさせて頂いた。中学校とは水害の避難訓練で施設をお借りし、教員によるお話と一緒に避難誘導をしていただく等、良い関係が築けている。

・保護者の喜びや悩みに寄り添って日々のコミュニケーションを図り、円滑な関係を築いている。散歩の際は近くで遊んでいるご家族に「子育てひろば」のチラシを配布し、広く周知し入園に繋がっている。

・職員全員で園内研修を実施(安全管理、保育環境、人権、BCP、感染症、事故検証と改善、見守りカメラの活用他)し、個々のスキルアップとチーム力の向上となった。

・保護者へはHPで実施活動内容を周知し、安心材料にしてもらおうと共に、職員それぞれの意識向上に繋がった。

3. 利用者アンケート 評価と改善

・職員が元気で明るく気持ちが良いと言った意見が多い中、一部の職員の対応の悪さや挨拶が不十分との声が目立った。個別面談や個別指導で、どうしてそのようにするべきなのかを伝え、意味を理解できるように伝えていく。また経験の浅い職員の知識不足、職員に余裕が無い等、職員育成や運営面での不安を感じている様子が感じられた。個々のスキルアップは直ぐに出来ることでは無いが、日々のアドバイスや経験を積むこと、研修に参加する機会を増やすことを意識しながら、現場の体制とのバランスを考えて進めていく。

・保育については様々な経験が出来る、よく身体を動かしている、子どものペースに合わせている、職員が信頼できる、親身になってくれる等の声が多数あり、職員の自信に繋がる結果となった。

4. 職員アンケート 評価と改善

・良い点は保育の振り返りや園内研修を通して保育のズレが少なくなった、問題が起きた時には全員で課題、改善を話し意見が言い易い、相談しやすく対応が早い、園の雰囲気良くなった、子どもを尊重した保育をしている、他クラスを気にかけてフォローし合っている、研修が充実している、地域連携が出来ている、休暇や休憩が取りやすく他の職員と話ができる等、前年度よりも良い環境になったと感じている職員が多い。

・課題は事務仕事の時間確保、仕事量の多さ、伝達が上手く伝わらないことがある、会議等の共有、他クラスの状況把握、人材確保、設備の古さ等、コミュニケーション不足と仕事量の整理が課題。仕事の効率化を優先して保育が疎かになるようなことは避けたいので、職員間で話し合いながら、整理していきたい。

5. 施設改修と固定資産物品の購入内容と効果

・1歳児保育室の入口ゲート及びおむつ替えコーナーの設置。出入口が開放的になり、換気が常時出来るようになった。子どものすり抜け無くなり、羞恥心への配慮や感染症の流行拡大を抑える効果があった。

・環境設定について、全職員で考える機会となった。職員通用門の劣化と破損の為、取替工事をし防犯、安全効果があった。

・給食室の機器が耐年数を超え、不具合があった為、機器の入れ替え、ダムウエイター、スチームコンベクション、食洗器の修繕を実施し、安全な給食を提供できるようになった。

1. 保育園目標の具体的な取り組みについての総括

- ・乳児については、手作り玩具を用意し、子ども自ら興味を示し行動に繋がった。
- ・他の私立保育園の協力を得て園内研修を実施し、継続的な身体作りの大切さを知ることができた。引き続き体を使った活動を取り入れながら、ねらいをもって子ども達の体づくりに繋げていく。(やってみようのころ)
- ・劇団の観劇会を行い、子ども達の興味のある昆虫が題材のストーリーだったこともあり、食い入るように見ている子が多かった。こうした行事の内容も、保育での活動に繋がっていき、子ども達の自発的な活動や興味につながった。(かんじるころ)
- ・園庭では異年齢で遊ぶ機会が多くなり、関りを持つことができた。自分より小さな子への思いやりや、大きな子への感謝や憧れが育まれ、関りの中で声掛けが聞こえてくる微笑ましい姿が見られた。(ありがとうのころ)

2. 選ばれる保育園づくりのための実践内容

- ・保護者向けに試食会を実施。試食し栄養士から食器や調理への配慮を伝え、保育園の給食への理解を得る良い機会となった。継続していきたい。
- ・職員の環境を考えていく上で、クラス会議を定期的に行い、職員の職層に関わらず意見を出し合い、情報共有を深めていくことができた。日常の職員の学ぶの姿勢や環境整備に取り組む姿等を、全職員で発信していくことを続け、保育園への理解を深め安心して預けてもらえることに繋げていく。
- ・小学校の夏休みを利用し、近隣小学校に来園の誘いを行い、小学校教諭の来園が実現した。保育環境や活動の視察後、給食を試食してもらい、保育園と小学校の違いや保育内容について理解を得るきっかけになった。来年度も継続できる様に小学校との連携を図っていく。

3. 利用者アンケート 評価と改善

- ・保育園の活動、給食については、高い評価を受けているが、登降園時の声掛けについて満足度が低かった。日々の子どもの様子を丁寧に伝えていくこと、伝え方について職員全体で考えていった。
- ・命の大切さについても学び、保護者にとって大切な子どもであることを再認識した。
- ・同じようにトラブルの際の対応や要望等についても、対応に反省が残るため、今後の大きな課題になった。怪我やトラブルについての対応は、同じようにしていくことが大切なことであり、クラス単位で物事を決めない、伝えられないような対応を心がけた。

4. 職員アンケート 評価と改善

- ・決まった時間に休憩が取れない、休暇が取りづらい等要望が多くあった。休憩は取れているが、まとまって取得できるようにしたいが、改善は難しいと思える。園外に出てもらうことも了承している。
- ・休暇については、表やクラス全体で調整をし、職員全体でバランスを考え、取れるよう配慮した。引き続き、希望を叶えられるよう努めていく。
- ・会議や昼礼でわかりやすく端的にはっきりと個人に言って欲しいという意見もあった。個々の職員の特性や性格を把握し、伝える方法を考えていくよう心掛けたい。

5. 施設改修と固定資産物品の購入内容と効果

- ・2階からの避難階段前に防犯扉を設置した。園庭で遊ぶ際の死角にもなっていたが、園庭側からは入れない仕組みになり、安全が確保された。
- ・ホールの天井の扇風機を設置した。夏季等季節問わずに換気や温度調節に使用でき、空気の流れができた。

1. 保育園目標の具体的な取り組みについての総括

・保育士が率先し挨拶を心掛けた。特に年長児においては毎朝事務所にきて元気に挨拶をする事を行い、他の場面で積極的に挨拶が出来る姿が見られた。「よろこび」をはじめとする絵本で親子共に誕生や生への感謝に着目した。(ありがとうのこころ)

・保育士や保護者との愛着関係を大切に、安定した環境の中で活動を進めた。生活の中での着脱や食事をはじめ、様々な遊びに意欲的に取り組む姿が観られた。英語、体操や外部の方を招いて野球、サッカー等にも挑戦した。(やってみようのこころ)

・青虫やめだかの飼育、枝豆ひまわり等植物の生育、ゆず柿の収穫など体験を大切に。絵本の読み聞かせ、人形劇を鑑賞するなどボランティアの協力のもと、その世界を十分に味わった。水遊びで開放感、心地よさ、染色ではその不思議さに触れる活動も行った。同時に活動と繋がる季節の歌をうたい思う存分表現する機会を持った。(かんじるこころ)

2. 選ばれる保育園づくりのための実践内容

・心地よい言葉を子どもだけではなく、大人同士が掛け合えるよう、温かい詩や言葉かけの例を挙げたポスターを作成、目につく場所に掲示して、日頃から心がけた。

・連絡帳やお便りで日常の様子を写真と共に丁寧に伝えた他、ホームページの細目に発信、保護者会では動画を作成、毎月お薦めの絵本や保護者の心に寄り添うポエムを掲示した。

・子育てひろばは、リピーターが参加が多い。「出張☆子育てひろば」以外にも園に積極的に親子や保育ママを招き入れ随時園見学を実施案内した。

・小学校や、近隣住宅、支援施設等との交流を大切に、実習生やボランティアを積極的に受け入れ、地域の中の保育園である事を意識し活動した。

・施設の改修、各保育室の環境整備を、子どもの活動に併せて行った。

・近隣との景観の調和、デザインにも工夫した。

・江戸川区のミドルリーダー研修に参加し、公開保育を行い保育の質向上に向けて全員で取り組んだ。

3. 利用者アンケート 評価と改善

・保護者に園での様子を伝える会話については、かねてより課題になっている。苦手な職員にはアドバイスしたり、全員が必ず一言、伝えられるようにした。

・行事日程の意見については、近隣小学校と連絡しながら計画していく。

・保護者からの要望について思いを受け止め、すぐに返答出来るよう心掛けてた。

・活動や給食など高評価を得ているものについては、更に子どもの興味や関心をもって行えるよう心掛ける。

・7年度は、掲示やお便り、ブログを細目に更新をし、すくわくプログラム参加を含め今年度以上に保育内容の説明や情報提供公開をしていく。

4. 職員アンケート 評価と改善

・職員間の関係がよく、楽しんで働けること、助け合っていること、リーダー層に話しやすい雰囲気があったという意見があった反面、会議の時間管理や決定事項が曖昧であることに対する早急な改善が難しかった。

・休憩や有休の取得出来ない事については、話し合いや幼児乳児に分けて休憩をとるタイミング等、リーダーを中心に工夫し、少しずつ意識出来るようになってきた。

・小学校、地域との繋がりについては、機会あるごとに交流の依頼を行い、ほかの施設との防災訓練に参加、小学校教諭による講演会が実現した。

・7年度は、職員の輪を大切に、近隣と避難訓練計画や小学校体験の提案もあり、実行する。

5. 施設改修と固定資産物品の購入内容と効果

・施設の改修として、園庭門は警備の確実な作動。フェンス交換は外からの侵入や視線を遮る。テラス塗装は滑り止め。ゴミ置き場は衛生的に保管する。扉の手ばさみ部分の修理として安全面の強化。

・固定資産の購入として、建年劣化の為、避難車更新。

1. 保育園目標の具体的な取り組みについての総括

- ・日常の挨拶や感謝の言葉は、社会生活における基本であるが、現状言葉だけが交わされている印象が強く感じられた。クラス状況報告会議の議題に設定し、職員からの声掛け内容を振り返り、改善に向けた取り組みを行った。(ありがとうのこころ)
- ・相手の思いや感じ方に気付けるよう、見守りや状況に応じた介入を行うことで、子ども同士の関係性が深められるよう援助してきた。穏やかな関りを持てるよう継続していくことが必要である。(かんじるこころ)
- ・子どもたちの探求心はとても深いことを改めて感じる事ができ、遊びや様々な活動において、年齢差はあるが自主的な発言や行動面が多く見られるようになったが、その反面、トラブルになることもあり、状況に応じた援助が今後必要である。(やってみようのこころ)

2. 選ばれる保育園づくりのための実践内容

- ・普段から、子ども達への声掛けや接し方には留意しているが、散歩などの園外活動中においては、多くの方がその様子を見守っているため、関り方に留意しながら地域の方々への挨拶や声掛けをするよう努めてきた。
- ・出張子育てひろばにおいて、地域の親子へ無理のない範囲で声掛けを行ってきたが、保護者の表情や雰囲気を受け止めていくことが大切と感じた。
- ・園の様子は、在園児保護者の口コミが大切であり、第三者評価、利用者アンケートの意見集約と、改善に向けた対策を保護者に伝え行った。
- ・保育園HP、ブログ配信は、写真掲示のNG対象者が多かったため、閲覧数が伸びなかった。今後について保護者会などの機会に理解を深めていく。

3. 利用者アンケート 評価と改善

- ・保護者の給食試食について、実施することができなかった、来年度より年間を通じて保育参観を行い保護者に給食の試食を行うよう年間計画に予定し、個々の感想を把握していきたい。
- ・登園や降園時(早番、合同保育以降)に担任と話す時間が取れないことや、他の職員からの内容が、子どもの詳細が聞けないことへの意見が多く、個人面談時や当番に入った時に関りを持てるよう心掛けていく。
- ・第三者委員の保護者説明については、掲示や新入園児説明会で説明をしているが、定期的にお知らせや配信していくことが必要である。

4. 職員アンケート 評価と改善

- ・職員の意欲向上について、担当クラス保育が主体になり、他のクラスへの状況把握や連携が薄くなってしまっていることで、職員全体の動きに負担感を持っている。職員会議などで関係性を深められるよう話し合いをしているが、更なる取り組みが必要である。
- ・経営層の職員育成における感じ方や関り方の違いにより、職員との共通理解が図り切れない面があり、継続した話し合いが必要である。

5. 施設改修と固定資産物品の購入内容と効果

- ・乳児クラス(1,2歳児)の空調機入替を予定通り夏を迎えるに更新。
- ・洗濯室乾燥機については、電気式からガス式への入れ替を予定したが、配管の設置ができず、見送ることとした。

1. 保育園目標の具体的な取り組みについての総括

- ・保育目標を職員自身に浸透できるように、項目をかみ砕き、ありがとうのところに繋がっている等、保育実践と保育目標を結び付けることで意識を高めた。(ありがとうのころ)
- ・挨拶と感謝を保育士自ら実践し、強要することなく生活の日常においていく保育を心がけた。(ありがとうのころ)
- ・子どもの好奇心わくわくが存分に満たされるよう時間と環境を保障することを心がけた。(やってみようのころ)
- ・初めてのあそび(机上ゲーム等)、継続のあそび(竹馬・コマ)、探索等、子どものやってみようのころを湧き立てる環境を整え経験を大切にしていた。(やってみようのころ)
- ・職員のやってみようも大事にし、例年や今までにとらわれず新しい発想を取り入れた。(保護者同伴の準備保育、運動会の構成、内容、日常にウクレレを取り入れ、発表の場面を作るなど)
- ・自然に恵まれた環境を生かし、季節変化、園内外の木々や花、気候などを丁寧に保育の題材に取り入れるようにしていた。(かんじるころ)
- ・からだで感じたこと、こころで感じたことを言葉に置き換えてみることを繰り返し感性に働きかけていった。

2. 選ばれる保育園づくりのための実践内容

- ・新規入園希望に繋げるため、子育てひろばの充実の中に保育ママとの関わりを強めた。
- ・6月より保育ママと0歳児が来園するようになり、保育ママのつながりで参加者が増え、にぎやかな時間となる日が増えた。保育ママからの新規入園は1名
- ・一般の新規の方の参加は突破口とし、園見学を子育てひろばに繋げ、遊びながら園の雰囲気や職員の対応なども感じ取ってもらった。リピートしてくれ子育てひろばから入園に繋がった家庭は5家庭。
- ・職員から選ばれる保育園として、困りごとや悩みはチームで解決、ひとりで悩まないという雰囲気を作った。
- ・仲間の悩みを拾い、みんなで考えるという事を繰り返した。
- ・保育では子どもと職員のやりたいを大事にし、小規模な話し合いの機会を増やし、職員で決定しながら子どものわくわく環境を作り職員の考えが実践できるということで保育士をしてのやりがいに繋がった。

3. 利用者アンケート 評価と改善

- ・保育内容、職員の対応などについて高評価。登降園時の声かけ、職員の対応は前回と比較し評価が上がった項目となる。あわせて要望や不満などへの対応についての評価も上がっている。職員間の連携があつてこそその成果である。
- ・施設内の清掃、整理整頓の項目が低下。来年度の努力項目としたい。
- ・毎年評価が上がらない項目として、理念方針について、外部の苦情解決窓口について。本年度は保育目標を改定したこともあり、保護者会、園だより、掲示等で広く伝えたが認識が低い。引き続き保護者の理解が深まるように伝え続けていく。
- ・第三者評価でHPの活用の助言あり。ブログの更新頻度を上げて、ブログの中で方針、園長の考え、保育実践をアピールすることに来年度は具体的な目標を立てて取り組んでいく。

4. 職員アンケート 評価と改善

- ・基本理念、園目標が周知され理解されている。情報管理徹底が職員に浸透している。育成研修を実施しているまた、研修報告を職員と共有している等が高評価。低評価は組織としての研修は充実しているが、自分が学びたい研修への参加の機会が少ない。個々の希望を把握し、参加可能な環境が整えられるかが課題。
- ・職員の定着に向け意欲向上に取り組んでいるかが低評価。処遇に関しては満足であるが人間関係を中心とした職場環境への不満が感じ取れる。職員の声を拾う機会を増やし、現状の把握と改善要望などを具体的にしていく必要がある。また、職場の雰囲気を作るのは自分自身でもある事も意識できる組織づくりをしていきたい。

5. 施設改修と固定資産物品の購入内容と効果

- ・プール柵設置工事 プールへの落下の心配なく安全に園庭あそびが行えるようになった。
- ・1Fトイレ 扉、おむつ交換台設置 プライバシーの保護、衛生面の強化。

1. 保育園目標の具体的な取り組みについての総括

- ・子どものその時の気持ち、状況を昼礼や報告会議で共有し、クラス以外の子ども達の様子を知る中で、子ども達が沢山の大人に見守られていることを感じられるようにすることで、ありがとうや思いやりのこころの育ちに繋がった。(ありがとうのこころ)
- ・野菜の栽培、魚の解体等を通して、大きく育った生き物をいただくことで、命に対してのありがとうのこころに繋がった。(ありがとうのこころ)
- ・子ども達が日々の生活の中でやってみたいと思った瞬間を大切に素材や遊びの環境を整え、やってみようのこころの育ちを大切にした。(やってみようのこころ)
- ・園周辺は自然を感じることでできる公園があり、散歩を多く取り入れることで四季の変化を感じたり草木花実などに触れることで感じる心の育ちに繋がった。(かんじるこころ)

2. 選ばれる保育園づくりのための実践内容

- ・園児管理システム、ブログ、動画配信などを通して、日々の保育を知ってもらうことで、保護者とのコミュニケーションを図った。
- ・在園児の保護者向け1日保育士体験を行った。保育の見える化をする事で、保育園の1日の様子を知ってもらい保育園の理解に繋がった。
- ・子育てひろば、出張おひさま子育てひろばを通して、保育園の雰囲気を知ってもらい入園に繋げるよう努め、地域の方に声をかけ子育てひろばの手紙を配布したり、保育園を身近な場所になるように努めた。
- ・園内研修や江戸川区のミドルリーダー研修を通して、クラスの保育を振り返ることで学び合う機会を設け保育の充実に務めた。

3. 利用者アンケート 評価と改善

- ・子どもの様子についてもっと伝えてほしい、職員によってばらつきがある、という意見については、当番の時間など担任がいない時間を含め保護者に様子を伝えていくように職員間で子どもの様子を共有する。
- ・保育園の安全対策についての意見について、送迎時の玄関が開いたままになっている事や、駐輪場で遊んでいる姿が見られていたので、声掛けや貼り紙、園児管理システムなどで保護者に協力をお願いしていく。
- ・保育園の活動に対して概ね満足という意見が多く、保護者の方から頂いた声を大切により良いサービスの向上に繋げていく。

4. 職員アンケート 評価と改善

- ・人間関係が良好風通しがよく話し合いが行いやすく、引き続き継続していくと同時にそれを生かし話し合いを通して保育の質の向上に繋がっていく。
- ・休暇の取りやすさについて、保育園全体で協力しながら引き続き休暇やリフレッシュ休暇を利用し職員の意欲向上に繋がっていく
- ・保護者に保育園の様子を知ってもらう為に、今後も保護者に子ども達の様子を伝え、コミュニケーションをとり信頼関係を築く中で様子を知ってもらえるよう継続していく。

5. 施設改修と固定資産物品の購入内容と効果

- ・施設改修の実施はなし。厨房のガステーブルの更新をしたことで、着火が短時間になり、効率よく作業ができ、導線の確保にもつながった。

1. 保育園目標の具体的な取り組みについての総括

・登降園の際、保育士が積極的に声をかけた事で、子どもからも挨拶が聞かれるようになった。また、様々な動植物や野菜を育てた事で優しい気持ちや食に対する感謝の気持ち、動植物等への興味を持つようになった。(ありがとうのこころ)

・外国人による英会話を実施していることで、外国人に対する違和感を感じる事無く、英語に対して興味や関心を持ち、楽しむ姿が見られていた。(やってみようのこころ)

・様々な事象に対し、保育士が積極的に園児に声をかけ、同調や会話が広がる様に努めた。また、活動を開始する前には約束事やルールを子どもに考えさせ、答えが出る様に務めた。暑さのため散歩に行く回数や園庭で遊ぶ時間が短く自然に触れる事が少なかった。(かんじるこころ)

2. 選ばれる保育園づくりのための実践内容

・子どもの事を第一に考え「安心、安全、信頼、協力」のもと心のこもった温かい保育を進めていく事を毎月の会議の中で確認し合い、自分が進める保育に、理由や根拠等の説明がしっかりとできるように努めると共に、人数確認や不適切保育等の情報提供や、防災防犯による勉強会の実施、保育室の整理整頓やヒヤリハットの共有、事故やケガによる原因と対策等の話し合いを進めた。また、保護者に対して行事の日程の変更、感染症状況、注意喚起等の情報を適時に行った事により、在園児保護者の信頼や満足度に繋がり、そこから口コミにより子育て家庭へと広がり見学、入園へと繋がった。

・丁寧な説明で保育見学を進め、そこから子育てひろばへの参加を促し、保育園のことをより知って頂くよう努めた。

・近隣住民に対して関りが深まるよう積極的に声をかけ、要望や苦情があれば直ぐに対処するように心掛けた。(特に砂埃や泣き声、遊具の金属音等に関しては配慮)

3. 利用者アンケート 評価と改善

・「子どもや保護者へのプライバシー」については昨年度低評価だったが、今年度は毎月の会議の中で確認や申し送りを徹底した事により改善される。また「子どもの気持ちや様子を保護者に伝えコミュニケーションや信頼関係を築く」については徐々に改善はされているが、勤務体制により関わりを持つ時間が取れなかったり、取れても降園時だったり、まだまだ課題が残る。今後、個人面談の時間や期間を延ばしたり、いつでも保育見学に来て頂けるアピール、保育中での様子を写真や動画等で伝えていく。

4. 職員アンケート 評価と改善

・職員同士がコミュニケーションを持ち、協力し合いながら保育を進めているが、各保育士による保育の質(特に園児達をまとめる力)に差があるため、個々による意識改革、研鑽努力、研修への参加、都度指導、場数を積ませる等を行い質の向上に努めた。また、限られた人数の中で日々、どの様に保育を進めていくのか朝礼や昼礼でしっかりと話し合い決定していく。

5. 施設改修と固定資産物品の購入内容と効果

・固定資産物品についてはホールの暗幕を購入する。ホールは様々な行事や日々の保育で使用する事が多く、夏は暑さ対策や会場内の雰囲気高める効果もあった。

1. 保育園目標の具体的な取り組みについての総括

- ・子ども達の手本になるように、率先して職員が笑顔で気持ちの良い挨拶ができるように心がけた。(ありがとうのこころ)
- ・年間を通して食育活動を行い、「わくわく、どきどき」しながら主体的に参加できるよう、五感を通し命の大切さを感じられるよう活動した。また、子どもの興味のある事、やってみたい事を遊びの中に取り入れ、わくわくの気持ちで参加できるようにした。「初めての絵の具の感触」「蝶になる姿を観察」皆で経験する事で心が満たされるような働きかけを行った。(やってみようのこころ)
- ・保育の中で、一人一人の子どもを気持ちよく受け取り代弁したり、子どもの新しい挑戦や発見に対して一緒に共感し「あっ、できた」の瞬間に、心が満たされるような言葉かけを心がけた。(かんじるこころ)

2. 選ばれる保育園づくりのための実践内容

- ・職員全員が全ての方々に、明るい声掛け、挨拶を丁寧に行い保護者、地域との繋がりを大切にしたい。
- ・お便りは、丁寧に細かく子どもの成長がよりわかるように記載。個人面談も話しやすい環境作りを心掛けた。
- ・子育てひろばで、園庭遊びやホールでサーキット遊び、近隣の公園行う「出張子育てひろば」を実施している、入園申し込みの参加者が増え、参加者の意見を参考に今後、家では体験できない行事、クラスに入って普段の保育を体験できるような形に工夫した。
- ・給食の様子や、大豆をテーマにした味噌づくりの体験、体育、英語あそび等を等、保育園の活動を公開し、保護者だけでなく様々な人に保育園の日々の様子を公開し保育園の活動や様子等を積極的にアピールし近隣や子育て家庭に選ばれるよう努力をした。

3. 利用者アンケート 評価と改善

- ・職員によって、保育園の様子、子どもの様子を伝えてくれる差がある。
- ・お迎えの時、さようならの時がある。エピソードがほしい。
- ・職員の入れ替わりが多く(基本的に年度の異動)、信頼関係が構築されない。
- ・タオルや着替えの入れ違間違いなど細かい点が気になる。
- ・棚の上が雑然としている
- ・職員全員で話し合い、笑顔で気持ちの良い挨拶をする。積極的にコミュニケーションをとっていく、園内、保育室を清潔にすることを心掛ける

4. 職員アンケート 評価と改善

- ・休憩をしっかり取る(平等に取れるようにする)、行事等の仕事を人任せにしない。行事担当の見直しを考える。注意の仕方が強く自分の事しか考えずに行動している人がいて職員のほとんどが悩んでいる。報告、連絡、相談ができない。定時で上がれるようにする。などの意見がある。
- 上記の件については、職員全員で話し合い、クラスがまわるような組織づくりを行っていく、仕事の係分担を見直しを考える。職員が休憩が取れるような体制づくりをする。

5. 施設改修と固定資産物品の購入内容と効果

- ・令和6年度、江戸川区の都市開発部施設課監督のもと、施設改修を実施。内容は、各保育室の排煙窓改修工事、テラス上の庇改修工事、プールの床の張替え、全クラス下駄箱取替え
- ・令和7年度、熱風食器消毒保管機(固定資産)を購入。
- 施設改修として、1歳児クラスの床暖房設置、トイレ温便座への変更、園庭テラスの照明器具が薄暗い為1階部分の照明器具の取替工事(防犯上のため必要)

1. 保育園目標の具体的な取り組みについての総括

・大人同士がありがたいのこころを大切に、人間関係を構築していく保育の実施できた。
・異年齢児交流や日々の保育において、優しく接する気持ち、憧れの気持ち、優しく接してもらえた時の気持ち等が芽生え、ありがたいのこころが響きわたる保育が実施できた。(ありがたいのこころ)
・園庭での探索活動、食育、日々の遊びの中で、子ども達がわくわくを発見した瞬間を大事にし、やってみたい気持ちを広げていく保育が実施できた。より広げていけるような環境設定等、引き続き考えたい。
・幼児クラスは行事に取り組む過程で子ども達と話し合う機会を多く取り入れ、子ども達のやってみようの意見を反映したことで保護者にもその過程を伝えることが出来た。(やってみようのこころ)
・クラス活動だけでなく異年齢交流、子育てひろばを通して様々な「ひとものこと」に触れ、五感の育ちに繋がった。(かんじるこころ)

2. 選ばれる保育園づくりのための実践内容

・子育てひろばでの保育所体験。在園時クラスの中に入り、保育活動の経験や乳児クラスを体験することで園生活の見通しが持てるようにしたことで入園に繋がった。
・出張おひさま子育てひろばを開催し、保育園を知ってもらう機会となった。
・保護者からの紹介。見学時、申し込み時に在園児の保護者から聞いてという方が複数いたので日々の保育を引き続き大切にしていく。
・第三者委員、小学校、中学校、ボランティア、近隣との交流。地域に根づく保育園を目指し、実施。引き続き内容を検討し、より深いものになるよう実施する。
・在職している職員(卒業生)による学校訪問、実習生の学校訪問・給食見学会の実施が就職に繋がった。

3. 利用者アンケート 評価と改善

・他クラスにも行き来してしている。職員すべてが子供のことを知ってくれている、クラス担任関係なく保育に携わってくれている等、当保育園が目標としている、チーム保育の成果を評価してもらえた。今後も実施していく。
・散歩や公園に行く頻度に関して。散歩や公園に行く目的や園庭遊びでの目的や意図をわかりやすく伝えることの大切さを感じた。また、子どもの成長にとって大切なことを利用者と共有しながら、行く頻度なども検討していきたい。
・少数意見では担任以外の引き渡しの際「元気でした」以外の話しを聞きたい。降園時の伝達の改善をしていきたい。

4. 職員アンケート 評価と改善

・チーム保育を大切に、他クラスとの関わりを普段から行う姿勢ができていいる等、保育園が目標としている、チーム保育の評価があった。今後もチーム保育を目標とし、PDCAを行いながら更なる向上を目指していく。
・会議方法の改善。職員間での話し合いから出た意見を取り入れ、令和7年度実施していく。
・休憩の取り方を職員間で話し合い、休憩スペースの確保もでき改善された。今後も現場職員の意見を取り入れ皆が気持ちよく過ごせる環境づくりに努めていく。

5. 施設改修と固定資産物品の購入内容と効果

・施設改修は安全対策を優先し、1階テラス両サイド門扉を設置した。特に3歳児側のテラスは職員駐輪場及び職員通用門に直結している為、門扉を設置したことでテラスでの活動をより安全に行うことが出来た。
・園隣接の松本なかよし児童遊園樹木の根がのびたことによる、大雨時小マンホールが浮き上がる事象があり危険だった為、江戸川区との協議の結果、江戸川区による修繕により事象が改善された。

1. 保育園目標の具体的な取り組みについての総括

- ・職員自身が挨拶や感謝の気持ちを伝えることを意識したことにより、子どもたちからも自然と挨拶する姿が見られるようになった。(ありがとうのこころ)
- ・身近な食材に触れる事で、興味や感謝の気持ちが持てるようになり、給食の残食が減った。(やってみようのこころ)
- ・造形遊びの経験を通して自分で考え、遊びに取り入れるようになった。子どもたちの発信を受け止め保育を進めることで、子どもたちの意欲を引き出し、創意工夫しながら遊びが継続する場面が見られた。やってみたいと思える環境を整えたことで、できるできないに、かかわらずに挑戦しようという気持ちを育てた。(かんじるこころ)
- ・自然物(落ち葉やどんぐり、枝、おしろい花)を使った遊びや、園庭の柿で干し柿作り等行った。
- ・散歩に出かけ季節の移り変わりを感じられる遊びを取り入れた。
- ・飼育している金魚やメダカに興味を持つ姿が見られた。

2. 選ばれる保育園づくりのための実践内容

- ・安全対策として夏の暑さに対し、テントや日よけを設置した。
- ・外部に対しては保育園の様子をブログで発信。保護者に対しては、日々子どもの姿をとらえて伝達し、希望者に対しては都度面談を行い、進級や進学に向けてフォローするなど、相談し易い関係づくりを心掛けた。又、運動会やプールの準備等、ボランティアを募り、園行事に関わる機会を設けた。
- ・保育所体験の充実を図った。「出張☆おひさま子育てひろば」では地域の子どもと保育園の子どもが一緒に遊んだり、簡単な制作をし、体験してもらおうと「楽しかったです」「家では出来ないのよ」等好評だった。入園希望の方もおり、園の活動を体験して頂く事が出来た。

3. 利用者アンケート 評価と改善

- ・第三者評価にて「家では出来ない経験をさせてくれる」「どの行事も充実している」等の声を頂いた。又、子ども達が楽しみにしている給食の献立、クッキングや栽培などの食育活動も評価して頂いた。
- ・マニュアルに関して「誰でも分かり易く」とのご提案を頂いた。自らマニュアルを確認出来るように重要なものは配布し、共有する為の振り返りを行った。

4. 職員アンケート 評価と改善

- ・職員同士の関係性の良さや、休憩が取りやすくなったとの意見があった。
- ・改善したい点として、環境整備や職員育成についての意見があった。保育環境の見直しと保育準備がスムーズに行えるよう、物品置き場の見直しを行っていく。

5. 施設改修と固定資産物品の購入内容と効果

なし
今後も劣化している箇所は都度補修する。

1. 保育園目標の具体的な取り組みについての総括

- ・保育士が見本となりお互いに気持ちよさを感じ取れるよう、子どもや職員も、「ありがとう」の言葉が自然と出るように心掛けた。また、教えてもらったり、手伝ってもらったり等、様々な場面での「ありがとう」が子ども達から、声が出るようになった。(ありがとうのこころ)
- ・栽培物を育てたりクッキング活動を行った。自分たちで育てたナスやピーマンをピザにしたり、自分たちで作った味噌で味噌汁を作った。食材がどのように育ち自分たちの口に入るのかを知った。給食を作っている様子を見、栄養士から食材の話聞くことで食への興味も広がり、作ってくれる事への感謝に繋がった。(やってみようのこころ)
- ・個性や発達の特性を深く理解し、発達や年齢にあった遊びや取り組み、意欲をもって取り組めるよう援助した。子ども達が保育室に入ったときに「今日は何して遊ぼうかな？」とワクワクするような環境を工夫し整えた。作成した作品を見てもらったり飾っておいたり、出来るようになった駒まわしや縄跳びを見てもらい褒めてもらい出来た喜びや達成感を味わっていた。(やってみようのこころ)
- ・散歩に出かけ、花や葉の移り変わりや風やおひさまの温かさを感じたり、虫探しをしたり自然に触れる機会をもった。(かんじるこころ)

2. 選ばれる保育園づくりのための実践内容

- ・園の雰囲気を感じられるよう、保育目標について、どのような思いで運営していくか全職員で、アンケートを実施。各自都度振り返りを行った。
- ・自然と挨拶が交わされ子ども達と共に喜怒哀楽を感じ、それを言葉や表情で表現するよう努めた。
- ・送迎時の保護者との関りを大切に。笑顔での対応と子どもの様子を一言でも伝えることで保護者に安心感が持てるよう努めた。
- ・保護者や外部に向けて日々の日常活動のブログや園児管理システムを使い配信を行った。
- ・保育参加、参観時に、給食の試食を行い、おひさまの給食を知ってもらい、おいしいと評価をいただいた。
- ・地域との交流として「出張☆おひさま子育てひろば」の実施。利用が増えるようアピールが必要と感じる。
- ・地域のお祭りに参加し活動の場を設けた。
- ・保育活動の充実。体操、英語の取り組みを行っている。

3. 利用者アンケート 評価と改善

- ・自然が沢山あり、戸外活動が充実している。
- ・異年齢交流があり、子ども達の関りを尊重している。幼児クラスは「わくわくデー」を設けクラスの交流を楽しんでいる。乳児、幼児と2クラスで散歩に行くこともある。
- ・職員が保護者や子どもにいつも親身になってくれる。
- ・給食は、創意工夫に富んでおり、献立表を見ただけでワクワクする。
- ・職員の対応にばらつきがある。保護者対応について、職員間で再度確認していく。
- ・門が開いていることがあるので気を付けてほしい。保護者会で周知、職員も気を付けていく。

4. 職員アンケート 評価と改善

- ・環境の見直しを意欲的に行えるようになった。子どもの主体性を大切にし、ていねいな保育が出来るようになった。職員間で話し合い、工夫しあえることが良い。職員同士の仲が良く助け合いが出来ている。等、働きやすい環境になってきたと感じられる。今期は、人事の異動など変化が大きかったためコミュニケーション作りに努めてきた。今後も引き続きチームワークの強化に努めていく。
- ・職員一人一人が向上するような話し合いや、研修を受けたい。保育についての話し合いを増やしたい。との意見があった。興味のある研修には出席したり、研修報告会の実施や園内研修の充実を図り保育に活かしていく。

5. 施設改修と固定資産物品の購入内容と効果

- ・1歳児保育室一部壁紙の張替え工事。
- ・給食室 熱風食器消毒保管庫が破損した。購入年数が古く修理を重ねて更新。
- ・外壁塗装工事(工事発注者:江戸川区都市開発部施設課)の実施 外観が綺麗になり明るくなった。

1. 保育園目標の具体的な取り組みについての総括

- ・職員が率先して気持ちの良い挨拶を心掛け行っていた事で、保護者や子ども達からの挨拶や笑顔をより多く引き出すことが出来き、安定した人間関係へと繋がった。また、感謝の気持ちを言葉や動作で伝えられるよう関わっていた。(ありがとうのこころ)
- ・日々の活動の中で挑戦しようとする気持ちを大切に保育を進めた。初めから諦めてしまうことがないように励ましながら援助して継続出来るように関わる事で、縄跳びや駒回し様々な場面で達成感を味わうことが出来た。(やってみようのこころ)
- ・自然に触れる機会を多く取り入れ野菜の栽培も積極的にを行い、草取りや水やり等も子どもたちと行い植物が生長する喜びや楽しさを伝えることが出来た。収穫した野菜を調理し食べることで、食べ物の大切さや調理する人への感謝の気持ちも育むことが出来た。(かんじるこころ)

2. 選ばれる保育園づくりのための実践内容

- ・子どもや保護者が安心できる環境づくり、温かい雰囲気づくりを目指し取り組んだ。
- ・子ども達が楽しく活動している様子を動画で撮り溜め、保護者会で見てもらい、給食の試食会で子どもたちに好評な手作りふりかけをその場で作り試食してもらおうなど、安心感や職員との信頼関係に繋がった。
- ・ドキュメンテーションを掲示し、他クラスの活動を知ってもらう機会が増え保育園の活動の理解に繋がった。
- ・子育てひろばの内容を見直し、乳児でも遊べるスペースを充実、子どもを遊ばせなが参加者が交流、話が出来るように工夫した。昨年に比べベリピーターが増え、子育てひろばに参加しているご家庭の入園も多数あった。
- ・園見学を丁寧に行った。
- ・散歩で出会う地域の方々と挨拶を交わす中で、地域の方々から声をかけてくれることも増えた。園庭で育てている野菜類にも関心を持ってくれ、職員や子どもたちに声をかけてくれる機会が増えた。

3. 利用者アンケート 評価と改善

- ・総合満足度で高い評価を頂いた。良い評価を頂いた事項には、「自然や社会と関わる機会が確保されている」「園での活動は興味や関心をもって行えている」等があげられていた。園の周辺には自然と触れ合える場が多くあり、今後も立地を活かした保育活動を行っていききたい。
- ・一部の職員の接遇に対してのご意見もあった、職員同士で学びあえる風土を確立していききたい。
- ・自由意見で評価を頂いた、ドキュメンテーション、職員園内研修の園だよりでの配信等々は今後も引き続き行っていききたい。
- ・すぐに改善できる事項については改善を行うよう、保護者会で伝えた。

4. 職員アンケート 評価と改善

- ・運営に関しては職員が理解し取り組んでいる。職員関係も概ね良好で仕事に対する意欲も感じられる。
- ・休憩場所や休憩の取り方等を整えたことで、仕事から離れリフレッシュでき気持ちに余裕が持てるようになっている。
- ・働きやすい職場環境を整える取り組みは職員の意見からも成果を感じている。
- ・園内研修の内容を活かすきれなかったり、職員間での共通の認識に欠ける場面もあったので、職員間の周知を徹底していききたい。

5. 施設改修と固定資産物品の購入内容と効果

各保育室のカーテンの入れ替えを行ったことで、保育室が明るくきれいになった。

1. 保育園目標の具体的な取り組みについての総括

・日々の生活の中で、年齢、場面に合わせて挨拶を繰り返し丁寧に言うことで身につく姿が見られた。泣いたり怒ったりしながらも、自分の気持ちを素直に表す姿に寄り添い認めることで、安心して自己表現する子が増え、保育園が安心できる場所となっていることを実感出来た。(ありがとうのころ)

・園庭の虫や植物、職員が見つけた自然物(写真含む)に興味を示し、自ら図鑑等を用いて調べる姿が見られた。幼児クラスではキャンプごっこやラキューの製作等、周りに発信し友だちと共有しながら遊びが広がる様子が多く見られた。職員もこまめに保護者へ詳細を伝え、園での様子を把握して貰うよう努めた。運動あそびリズムあそびでは異年齢児交流を多く取り入れ、互いに刺激を受けながら、意欲を高めることが出来た。(やってみようのころ)

・栽培物の世話や食材に関する食育を通し、興味を持ち楽しく食べる子が増えた。季節に合わせた製作や歌、「大きくなったねの会」に向けての取り組み等を通し、表現する楽しさや友だちと一緒に創り上げる達成感等を味わい、個々の自信へと繋がった。(かんじるころ)

2. 選ばれる保育園づくりのための実践内容

・老朽化していたジャングルジムを撤去し、乳児用固定遊具を設置。1歳児も安全に滑り台等の遊具を楽しめ、園庭遊びが充実した。幼児は全面を使用してのドッジボールやリレー、異年齢児交流を取り入れながら、伸び伸びと身体を動かしていた。また、園庭を囲むように様々な木が植わっており、昆虫探しや、落ち葉等、季節の移り変わりを存分に感じる事が出来た。(園庭の環境)

・0歳児が遊びやすい玩具や絵本を専用に用意し、環境設定に力を入れた。子育てひろばの中でも、保護者同士がコミュニケーションを取りやすいように自己紹介の時間を設ける等工夫した。年度の後半は必ず参加してくれる家庭が増え、入園に繋がる子も多かった。入園内定後は子どもが慣れる為、又職員との関係作りの為に毎回参加する家庭が多かった。(子育てひろばの充実)

・1歳児保育室にて親子で遊ぶ企画が実現出来なかったため、次年度に取り入れたい。

3. 利用者アンケート 評価と改善

・園での活動は子どもが興味関心を持って行えるものであり、心身の発達にとっても役立っている事、又給食に関しても非常に良い評価を頂いた。

・職員の子どもへの対応に関しても、信頼できるとの回答が多かった。

・急な残業等での保育時間変更に対する要望が多かったが、利用しやすい柔軟な体制で要望を受けられるよう保護者会や新入園児説明会で伝えた。

・苦情解決のシステムや第三者委員の存在を、再度書面及び各クラスの保護者会にて伝えた。

・アンケートの回収率が低かったため、次年度工夫をし、上がるよう努めたい。

4. 職員アンケート 評価と改善

・職員同士が意見を交換し、困っている時に協力し合う等、関係性が良好である。

・園内研修を多く取り入れ、学び合う機会が多く、勉強になった。

・行事の実施方法や仕事量のバランスに偏りがある等の意見が出ていた。職員の思いを確認し、見直しを進める。

・施設の設定面、特に床の改修を望む声が多い。法人全体での検討もしながら、安全に過ごせるよう改善する。

5. 施設改修と固定資産物品の購入内容と効果

・玄関門横にインターホンを設置したことで、初めて来園する人でも戸惑う姿は見られなくなった。

・中学校との間の通用門交換を実施。開閉がスムーズになり、避難時の心配が解消された。

1. 保育園目標の具体的な取り組みについての総括

- ・日々の活動や行事などの関りの中、クラスを超え他者(大人)の存在を意識し、心地よさを感じながら感謝の気持ちを持つことができた。(ありがとうのこころ)
- ・体育、リズムあそび等を通じ、体を動かす活動を楽しみながら健康な心と体づくり取り組んだ。食育の活動として夏野菜の栽培や食べた食物の種を植え、発芽の様子を観察したり、実際に収穫した夏野菜を口にしたりする事で子ども達の食物への興味と意欲が結び付き、給食の残食が減った。(やってみようのこころ)
- ・その季節ならではの活動を大切に、クラスで工夫し様々な体験を楽しんだ。寒天、片栗粉、氷等、身近なものを使った感触遊びや、虫探し、ボディペインティング、楽器あそび、散歩等、季節の移り変わりを身体で感じる事ができた。(かんじるこころ)

2. 選ばれる保育園づくりのための実践内容

- ・子育てひろば(出張子育て含む)を通じて園の雰囲気を知って貰う等、地域の子育て家庭との関係性を築き、身近な存在となれるよう、温かい雰囲気の関りを大切にしました。
- ・室内玩具の見直し(子どもの発達や興味に合わせて)
- ・保育園のホームページやブログ、外掲示板を活用し、保育園の様子を地域の方々にも積極的に配信した。
- ・少人数での園見学の実施

3. 利用者アンケート 評価と改善

- ・「園での活動は、子どもの心身の発達に役立っていると思いますか」「園での活動は、子どもの興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか」の項目で高い評価を頂いている。これからも、子ども達の興味関心が”わくわく”するような保育を職員と一緒に感じ、日々体験を積み重ねていく。
- ・改善点として、法人の基本理念、苦情相談窓口についての周知、引き続き行事等、第三者委員を紹介する場を設ける。安全計画等の保護者への周知を工夫していく。

4. 職員アンケート 評価と改善

- ・理念、ビジョン、基本方針等の周知や理解について、重要な意思決定に関して、内容と経緯を知らされている等の項目には高い評価を得ている。組織として皆が共通理解で同じ方向を向いて進めて行く上では大事な事だと感じている。
- ・保護者からの意見など、スピーディーに対応している点なども今後も継続して行きたい。
- ・勤務体制、休暇取得、休憩等の改善を求める声も出ている。声をかけながら休暇や休憩、保育体制を整える等、これからも皆が気持ちよく働けるよう相互支援的な職場環境を意識し取り組んでいく。

5. 施設改修と固定資産物品の購入内容と効果

- ・電子ピアノが無かったクラスに購入。日々の保育での活用、伴奏つきで歌う心地よい経験、発表会などの導入にも効果があった。
- ・散歩車の購入。老朽化により買い替え。安心して日常の散歩で使用している。(災害時などの避難にも活用。安全に園外へ出る事ができる)

1. 保育園目標の具体的な取り組みについての総括

- ・異年齢交流を多く取り入れ、様々場面で交流することで、思いやりの気持ちや憧れの気持ちをもてるようにした。(ありがとうのころ)
- ・積極的の戸外に出る機会を設け、季節の移り変わりや五感を使って遊ぶ経験をたくさん取り入れるようにした。自分の思いを言葉にしたり相手の気持ちを考える環境を整えた。(かんじるころ)
- ・職員がやりたい保育を子ども達と一緒に考え、行うことで楽しいを感じる事が増えた。
- ・出来る出来ないではなく、やってみたいと思える言葉かけや環境を整え、子ども一人ひとりの気持ちの寄り添うようにした。(やってみようのころ)
- ・園だよりで各クラスのわくわくエピソードを紹介することで、職員や保護者に園目標の意識付けができるようにした。

2. 選ばれる保育園づくりのための実践内容

- ・日々の活動や行事を子どもが主体的に考えて行うようにしている。
- ・子ども一人一人を大切に、子どもの気持ちを尊重した言葉かけや対応をしている。
- ・職員同士が助け合う気持ちをもって、苦手な部分を補い合える関係づくり。
- ・園庭やテラスなど、子どもが伸び伸びと遊べる環境や安全に過ごせる環境作り。
- ・保育を職員が子どもと一緒に考えて発展していけるような言葉かけ

3. 利用者アンケート 評価と改善

- ・職員の日々の伝達などは、出来る職員と不十分な職員がいる。全体で挨拶だけでなく日々の伝達は小さな事でも伝えるようにしていきたい。
- ・玄関のカギについては、閉まっているのかがわかりにくい状態なので、玄関の門の改修を考えたい。
- ・アンケートの回収率が低く、意見を頂いた内容については、きちんと対応していきたい。
- ・苦情対策窓口について知らない保護者もいるため、保護者会等、都度説明をしていく。
- ・子どもたちの気持ちに寄り添う保育を、保護者の方が実感しているという意見が多い。今後も子どもたちの気持ちに寄り添う保育、子ども主体の保育を今後も継続して行っていきたい。

4. 職員アンケート 評価と改善

- ・有休や休憩が取れるような環境をつくり、仕事の効率をよくしていきたい。職員同士が学びあい、助けあい、保育を語り合える会議や時間を設けていく。
- ・互いの良い部分を認めあえる関係を作っていく。
- ・働きやすい人的環境や物的環境を考えて整えていく。

5. 施設改修と固定資産物品の購入内容と効果

- ・2,3歳児クラスのトイレの水漏れがあり、急遽、床の張替えを行った。きれいになり気持ちよく保育を進める事ができたとともに、安全な環境が整えることができた。巧技台の老朽化に伴い一部購入予定だったが、購入できなかった。

1. 保育園目標の具体的な取り組みについての総括

- ・日常の中で、自然とお互いがあるがどうの気持ちが沸き上がるよう、子どもたちが手伝い等をしてくれた時は、職員からありがとうを伝えるようにあらためて園全体で心がけた。(ありがとうのこころ)
- ・遊びを通して様々な経験し、子ども達のやってみたいと思う気持ちを育んだ。(やってみようのこころ)
- ・散歩や日々の行事を通して、四季を感じていけるような活動を考え、感じるこころや豊かな感性を感じていけるよう心がけて保育を行った。(かんじるこころ)
- ・保育の質を高めしていくために、園内研修を行い、職員の知識や意識の向上に務めた。
- ・家庭との連携をきちんと図るために、子どもの成長した場面や出来事などは様々な方法で伝えた。
- ・会議の中で、職員間で園児や家庭の情報を共有し、全職員で全園児に対して意識を高めた。

2. 選ばれる保育園づくりのための実践内容

- ・日々の保育の様子を写真等を活用して、保護者伝え、安心感を得ている。
- ・予算の範囲内で、保育環境を見直し、園内の備品や玩具等を更新した。
- ・子育てひろばの運営に力を入れ、保育園を身近に感じられるようにした。
- ・出張子育てひろばに力を入れ、近隣の親子に声掛けを行い、おひさま保育園の認知度をあげた。
- ・保育所体験を行い、あたたかい雰囲気を感じてもらった。
- ・園見学は、雰囲気を感じてもらい、丁寧に説明するよう心掛けた。
- ・近隣小学校との良好な関係を継続し、行事等への参加を行う事により、子どもや保護者にも小学校への不安感がないよう心掛けた。
- ・地域まつり(ふれあいまつり)に積極的に参加する事により、地域の方に保育園と職員を知ってもらう機会を得た。

3. 利用者アンケート 評価と改善

- ・子ども同士のトラブルに対する職員の信頼性や登降園時の声かけや園での様子等が少ないとの結果となっている。これを受けて、職員間で日頃の様子等を今まで以上に伝えていくよう話しあった。
- ・園児管理システムにて、日々の様子や食事、おやつ提供や園での活動がわかるようにしていることで、子どもの発達や日々の食事量等が共有でき役立っている。
- ・園内の整理整頓などの項目が評価が高い為、継続していけるよう努める。

4. 職員アンケート 評価と改善

- ・全体的に日常の保育を通して子どもの生活を豊かにし、日常保育について考える事を全体として行っている。また、子ども一人一人の気持ちを大切に保育を行っており、引き続き職員同士が共有しながら行っていく。
- ・研修内容や日頃の気づきなどを共有し、話しあったりする場面が少なく感じている職員もいる為、チーム全体で活動できるよう取り組んでいきたい。

5. 施設改修と固定資産物品の購入内容と効果

- ・施設改修は、特に実施なし。
- ・給食室回転釜の更新。更新した事により焦げ付きがなくなったり、洗浄がスムーズになり、より調理に集中できるようになった。
- ・キャスター付き電子オルガン2台を更新した事により、活動中に季節や行事の歌を歌う事により、保育の幅がひろがった。

1. 保育園目標の具体的な取り組みについての総括

・園生活の中で、まずは職員の挨拶がコミュニケーションの始まりであることに意識し、手本となりながら挨拶することに心掛ける取り組みを行った。子ども達も職員の様子から姿を模倣し、立ち止まって挨拶する姿や登園時等、子ども達同士が積極的に声をかけ挨拶を交わす姿が増え、他児との関わりに興味、関心を持つ様子が見られた。(ありがとうのこころ)

・子ども一人一人の「やってみよう」を引き出す保育を行う為に、楽しみながら自由に表現を楽しむ「リズムあそび」を積極的に行った。音やリズムの違いを感じながら、保育士や他児の動きを模倣し、積極的に身体を動かし表現する様子が見られた。また、一人一人の表現から得意とする物への発見に繋がり、認める合う声掛けが増え、子ども達の自信につながった。また、職員が中心となって園内研修を実施し、職員自身も子ども達と共に保育を展開する楽しさを感じる機会になった。(やってみようのこころ)

・クッキング活動を実施、保護者と共に楽しむ機会を設けたことで食への興味だけではなく、子ども達自身が保護者への感謝や思いを伝えたいと人を想う機会となった。(かんじるこころ)

2. 選ばれる保育園づくりのための実践内容

・保護者に寄り添い、思いを知る研修として絵本を使用した「命」を考える園内研修を実施。親子の思いの大切さを改めて振り返り、全職員が、保護者の思いに寄り添いながら、ゆとりある対応を心掛ける共通認識を持った。

・子どもの日々のエピソードを職員間で話す機会を作り、子どもの様子を共有しながら保護者に伝えたり、保護者配信システムにて写真やエピソードの配信や、ホームページの配信を細目に行った。子どもの発達や雰囲気伝わり、安心感へとつながった。また、外部からも園を知って頂く機会となった。

・子育てひろばの中で乳児クラスとの交流を増やしたことが、年齢に応じた発達や園での生活の流れ、園の雰囲気や職員の園児に対する対応を知る機会となり、園に対して安心感をもって頂いた。

3. 利用者アンケート 評価と改善

・子ども達が興味関心をもって活動に参加できていると評価をいただいた。また、職員との信頼関係も改善され、話しやすい等意見があり、職員の励みになっている。その反面、子どもの発達について、話し合う時間の要望があった。職員の勤務状況と合わせながら、できる限り心掛けていきたい。

・安全面において登降園時間における園庭門の開放について、不審者対応に関する心配の声が聞かれた。設備上、駐輪を園庭内で行っている為、園舎玄関へのオートロック取り付けを検討し、職員の防犯意識と共に安心、安全な環境づくりに心掛けていきたい。

4. 職員アンケート 評価と改善

・前年度に比べ予算の説明等、情報の共有がされるようになり、保育園の状況が理解できるようになったと意見があった。今後も情報の共有に心掛け、全職員にて理解を進めながら子ども達の取ってどうなのかを中心に考えていきたい。

・園内研修の実施し、保育知識向上を行ったが、時間の確保の難しさがある。全員での研修時間の確保が難しい状況にあるため、少人数単位での研修を行っていくなど、工夫をしていく。

・休暇取得に向け人材の不足が感じられ休暇が取りづらいとの意見があった。休暇の取り方について職員間で話し合い、改善策を考えていく。

5. 施設改修と固定資産物品の購入内容と効果

・園内誘導灯交換工事や5歳児クラス排煙窓ワイヤー交換工事、給食回転窯交換等、経年劣化による故障修理、交換工事、を実施。安全、安心な環境となったが、今後は設備が順番に劣化していく事が予想されている。

・民営化以前から使用している机が劣化により破損が見られ更新。ささくれによる怪我等無くなり、子ども達にとっても扱いやすいものとなり、快適で過ごしやすい環境の一つとなっている。

1. 保育園目標の具体的な取り組みについての総括

- ・子どもと共に職員も気持ちの良い挨拶をし、様々な経験を通して感謝を伝えたり伝えられたりすることで心地よさに気づき、安心感の中、やりたい遊びが楽しめるようにしていった。(ありがとうのころ)
- ・季節の野菜や花を育てたり積極的に戸外に出て季節の移り変わりを感じられるようにした。(かんじるころ)
- ・様々な感じる子ども達の気持ちを受けとめ言葉にしたり寄り添う事で、感情豊かに表現できるようにしていった。(かんじるころ)
- ・幼児は定期的に異年齢児交流を行ったり活動により日常でも積極的に異年齢児で関われる環境を整える事で、様々な刺激を受け年上への憧れや年下への思いやりの気持ちが育まれた。(かんじるころ)
- ・子どもの興味、関心を大切に、やりたい遊びや疑問に応えられるような環境設定を工夫した。食育では給食に出たスイカの種を植え生長する様子を観察する姿があった。(やってみようのころ)

2. 選ばれる保育園づくりのための実践内容

- ・一人一人を大切に、丁寧に子ども達と関わり向き合う保育する。子どもの人権に配慮した保育を行うため、園内研修を行い職員が意識して子どもと関われるようにした。
- ・子どもにとって安心安全に過ごせる環境を整え、十分に遊びこめるような設定や必要に応じた援助をしている。職員間で子どもの情報を共有し連携を図り子どもの気持ちを第一に考え対応した。
- ・生活や遊びの中で子どもの気づきに目を向け、共感したり「やりたい」気持ちに応えられる保育をした。
- ・誰に対しても気持ちの良い挨拶をすることで明るく楽しい園の雰囲気作りを心掛けた。
- ・異年齢児交流を積極的に行い、子ども同士で様々な刺激を受けあい心身の成長に繋げた。
- ・散歩に出掛けた時には地域の方に挨拶をしたり、交流を持てるようにした。

3. 利用者アンケート 評価と改善

- ・園での活動には満足度が高く、行事や異年齢児交流で良い刺激を受けているという評価がある反面、戸外遊びやプール遊びを増やしてほしいという意見もある。近年の暑さ等の影響もあると思うが、保育内容を工夫し充実させると共に活動の伝え方を工夫していく。
- ・職員の対応として、雰囲気が良く個々の子どもへのきめ細やかな対応に安心できるという意見がある一方、伝達がないことがある、園での様子をもっと知りたい等のご意見があるので、職員間の伝達方法を再度確認し「伝達プラス一言」を引き続き心掛けた対応を行う。又、特に子ども同士のトラブルに対する対応を丁寧に伝えていく。

4. 職員アンケート 評価と改善

- ・職員が全員の子どもを見る意識、情報共有が出来ている、意見を言いやすい雰囲気があるという一方で会議で発言しない人がいるという意見もあるので、全員が発言しやすい雰囲気作りをする。
- ・書類作成の時間の確保、休憩の取り方等、クラスだけでなく全体で協力できる体制を整えていく。仕事内容、会議等を整理し時間の使い方を職員間で検討し工夫していく。
- ・地域との連携の仕方を検討し、体験や交流の機会を増やす。
- ・園内研修により子どもの人権や関わりを考えられたという意見が多いので、引き続き学びの機会となるような研修を取り入れていく。

5. 施設改修と固定資産物品の購入内容と効果

- ・園舎内網戸の張替え:網戸がきれいになり気持ちよく生活できるようになった。
- ・バイオクッションの購入:プール、水遊びを行う際の安全対策、怪我予防になった。
- ・更衣室の床下の水抜き補修:床が抜ける危険があった為補修
- ・事務所内エアコン補修工事:大量の水漏れがあった為補修

1. 保育園目標の具体的な取り組みについての総括

・職員が日常の小さなことにも気づけるような目と心を持てるよう、乳幼児会議の中でも伝えていき、職員が進んで子どもにも大人にも「ありがとう」と感謝の気持ちを言葉にして言うよう心がけた。特に幼児は、友達や職員に対し「ありがとう」という言葉等、素直に感謝の言葉が出るようになってきている。(ありがとうのころ)

・園庭の花壇を充実させたり、野菜栽培をし、虫の成長を観察したことで、様々なことを感じ、「わくわくの出会い」を提供できる環境づくりを心がけた。虫は何を食べるのか図鑑で調べたり、この花は何という名前だろうと興味を示したり、子ども達の「ころの動き」を大切に保育を行った。また友達同士の関わりの中で、相手がどう感じどういう気持ちなのか、何を考えているのか、想像できるよう言葉がけを丁寧にした。(かんじるころ)

・子どもの声に耳を傾け、子ども達の想いや考え、受け止めることで主体性へと繋がるように心がけた。子どものやりたい思いや姿から遊びを設定した。幼児クラスは行事を通して友だちの刺激を受け合ったり、励まし合う姿も見られ最後まで諦めずやってみようとする様子があり、一人一人の成長が感じられた。(やってみようのころ)

2. 選ばれる保育園づくりのための実践内容

・保育の質の向上を目指す為に、月に1回の乳児、幼児会議で保育の資料をもとに、それぞれの考えを話し合い、保育士同士の理解、情報共有をし、同じ方向性で保育を行い、子ども達が楽しく安心して過ごせる園になるように努めた。また、外部研修にも参加し保育に繋げた。

・毎日のヒヤリハットを各クラスごとに昼礼や職員会議で報告し、職員間で共通認識と改善点を話し実践した。また、安全計画のもと、園内研修を行い職員が共通理解できるようにした。

・日々の送迎時に保護者とのコミュニケーションをとり信頼関係の構築に努めた。保護者からの意見等には耳を傾け丁寧に対応することで安心してもらえるようにした。

・子育てひろばを、同じ職員が担当したことで、参加者が相談しやすくなったり、参加しやすくなったりとリピーターも増え、入園に繋がるケースもあった。「出張子育てひろば」では公園等、戸外で行った。乳児の参加が多い状況だが、園外は遠慮したいという意見があった。今後、場所や内容等の見直しや工夫が必要であると感じた。

3. 利用者アンケート 評価と改善

・アンケートから、総合満足が100%という評価をいただき、園への信頼と感謝を寄せる声が多かった。また職員の雰囲気が高く全体的に明るい、園庭の広さや環境の良さ等も高評価をいただいている。引き続き、一人一人への丁寧な対応を心掛けていきたい。

・第三者委員の存在を把握していない保護者がいるため、年2回の保護者会で紹介をしたり掲示や園だよりで伝えていくようにしていく。

4. 職員アンケート 評価と改善

・職場の雰囲気が良く、コミュニケーションが多いため、職員間で情報を共有したり、助け合いながら保育を行っている。また乳幼児会議を行い、職員間で話し合う時間を設けたことで、みんなが同じ方向を向いて保育をすることができていると感じている。次年度も引き続き風通しの良い職場の雰囲気づくりと、保育の質の向上として一人一人職員が意見を発言し個々を尊重したり、違う意見があればお互いが交わり合える関係性づくりをしたい。今後、休憩の確保や書類作業の時間の確保をどうするか、全体で話し合い協力し合いながら仕事がしやすい環境を整えていきたいと思う。

5. 施設改修と固定資産物品の購入内容と効果

壁紙張り替えを行った。ホールは卒園式前に工事ができたため、きれいな環境の中で行えた。予算の関係上、できなかった廊下半分と4歳児クラスの壁紙張り替えを令和7年度行う予定。

1. 保育園目標の具体的な取り組みについての総括

- ・日々の関わりの中で、感謝の気持ちを伝え合える関係を作り、自然な形の「ありがとう」が聞けるようになった。職員も意識して感謝を伝え合うようにし、子ども達の手本になるように進めた。(ありがとうのこころ)
- ・各学年に合った形で、子ども自身が主体的に参加出来る活動を増やした。失敗をネガティブに捉えず次に繋げられるような関わり方も意識し、子ども達が前向きな姿勢で過ごせた。(やってみようのこころ)
- ・同じ空間、同じ活動でも、個々の感じ方は様々だという前提で、それぞれの感覚を否定せず受け止めていった。又、本物に触れる事を意識し、様々な体験を通して、個々の感覚の幅を広げていった。(かんじるこころ)

2. 選ばれる保育園づくりのための実践内容

- ・ブログの発信を強化し、子ども達の楽しんでいる姿や、家庭では出来ない活動等を掲載し、アクセス数は上がった。
- ・日々の活動内容をより楽しめるものにしていく事で、子ども達自身が「保育園は楽しい」という発信をしてもらえるよう努めた。又、保護者に対しても、迅速かつ丁寧に対応し、信頼関係を築いていくことで、地域内での評価も上げていけるようにした。
- ・おひさま子育てひろば、出張☆おひさま子育てひろばも積極的に行い、地域との関わりを作っていた。参加者数が増えていないが、引き続き周知の仕方には改善していきたい。

3. 利用者アンケート 評価と改善

- ・園での様子があまり伝達されないという意見があったので、当番時間帯の姿でもよいので、子どもが何をしてきたかを伝えていくようにした。又、保護者との関係性を作っていく上で、業務的な会話だけではなく、様々な話題で関わりを作っていくようにしていった。
- ・職員によって違いがあるという部分も改善出来るよう、個人で判断するのではなく、園としての判断を確認し、丁寧に対応していくようにした。

4. 職員アンケート 評価と改善

- ・会議が多いという意見があったので、時間を決め、効率よく進められるようにした。
- ・休憩が取れない、取りづらいという意見もあり、事務所の雰囲気に対する言葉もあった。互いに園の為、子ども達の為に動いているという部分を大切に、良い部分を認め合える関係性を作り、職員が安心して働ける環境を整えていく。

※令和7年度にどのように改善するかについて記載してください。

5. 施設改修と固定資産物品の購入内容と効果

- ・体育あそびが始まるのに合わせ、室内用鉄棒の購入も検討していたが、講師から園庭の物で対応するとの話をもらったので、購入しなかった。
- ・保育室内の棚は現状の物を引き続き使うことになり、購入しなかった。
- ・上層階住人からの希望があり、園庭楠の剪定を行った。
- ・乾燥機の故障した為、更新。

令和6年度報告資料

2025/3/31

1. 定員等

拠点名	認可定員						年度末在籍人数比率																				
							在籍園児数 2025/3/31						認可割合	保育標準時間2025/3/31						在籍割合	保育短時間2025/3/31						在籍割合
	1歳	2歳	3歳	4.5歳	合計	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	1歳		2歳	3歳	4歳	5歳	合計	1歳		2歳	3歳	4歳	5歳	合計		
1	葛西	20人	24人	35人	70人	149人	18人	24人	26人	27人	27人	122人	81.9%	18人	21人	21人	22人	22人	104人	85.2%	0人	3人	5人	5人	5人	18人	14.8%
2	新堀	20人	23人	23人	46人	112人	20人	20人	22人	23人	20人	105人	93.8%	19人	16人	18人	22人	20人	95人	90.5%	1人	4人	4人	1人	0人	10人	9.5%
3	東小松川	12人	18人	22人	48人	100人	17人	22人	23人	22人	24人	108人	108.0%	17人	19人	17人	19人	20人	92人	85.2%	0人	3人	6人	3人	4人	16人	14.8%
4	鹿骨	22人	25人	27人	56人	130人	22人	25人	27人	26人	26人	126人	96.9%	22人	17人	22人	20人	24人	105人	83.3%	0人	8人	5人	6人	2人	21人	16.7%
5	北葛西	24人	27人	31人	62人	144人	22人	25人	27人	25人	25人	124人	86.1%	21人	19人	22人	21人	21人	104人	83.9%	1人	6人	5人	4人	4人	20人	16.1%
6	葛西第二	21人	24人	26人	53人	124人	20人	20人	22人	22人	20人	104人	83.9%	20人	16人	16人	18人	15人	85人	81.7%	0人	4人	6人	4人	5人	19人	18.3%
7	春江	24人	27人	34人	72人	157人	22人	25人	31人	28人	30人	136人	86.6%	18人	18人	27人	23人	23人	109人	80.1%	4人	7人	4人	5人	7人	27人	19.9%
8	東小岩	17人	20人	24人	52人	113人	18人	20人	19人	22人	22人	101人	89.4%	16人	18人	16人	17人	20人	87人	86.1%	2人	2人	3人	5人	2人	14人	13.9%
9	西篠崎	20人	23人	25人	52人	120人	20人	24人	23人	25人	21人	113人	94.2%	16人	21人	18人	23人	18人	96人	85.0%	4人	3人	5人	2人	3人	17人	15.0%
10	西小岩	27人	30人	35人	73人	165人	26人	30人	31人	31人	31人	149人	90.3%	21人	21人	26人	25人	30人	123人	82.6%	5人	9人	5人	6人	1人	26人	17.4%
11	松江	17人	20人	25人	54人	116人	17人	20人	23人	23人	24人	107人	92.2%	17人	14人	19人	21人	20人	91人	85.0%	0人	6人	4人	2人	4人	16人	15.0%
12	松本	18人	26人	30人	62人	136人	20人	22人	25人	26人	27人	120人	88.2%	16人	18人	22人	21人	25人	102人	85.0%	4人	4人	3人	5人	2人	18人	15.0%
13	清新	20人	23人	28人	58人	129人	21人	23人	24人	20人	25人	113人	87.6%	19人	20人	19人	18人	24人	100人	88.5%	2人	3人	5人	2人	1人	13人	11.5%
14	小松川	24人	25人	27人	53人	129人	18人	21人	24人	20人	21人	104人	80.6%	14人	18人	20人	15人	17人	84人	80.8%	4人	3人	4人	5人	4人	20人	19.2%
15	南葛西	16人	23人	25人	54人	118人	18人	22人	22人	22人	22人	106人	89.8%	17人	20人	19人	17人	18人	91人	85.8%	1人	2人	3人	5人	4人	15人	14.2%
16	西葛西	25人	26人	27人	60人	138人	22人	23人	23人	23人	23人	114人	82.6%	19人	19人	22人	19人	18人	97人	85.1%	3人	4人	1人	4人	5人	17人	14.9%
17	中葛西	27人	28人	28人	56人	139人	22人	24人	23人	24人	26人	119人	85.6%	21人	22人	15人	23人	21人	102人	85.7%	1人	2人	8人	1人	5人	17人	14.3%
18	松島	19人	21人	25人	52人	117人	18人	20人	20人	20人	22人	100人	85.5%	15人	17人	18人	18人	21人	89人	89.0%	3人	3人	2人	2人	1人	11人	11.0%
19	清新第二	22人	23人	23人	46人	114人	20人	22人	21人	21人	22人	106人	93.0%	18人	20人	17人	17人	20人	92人	86.8%	2人	2人	4人	4人	2人	14人	13.2%
20	北小岩	15人	23人	25人	51人	114人	15人	18人	17人	22人	22人	94人	82.5%	11人	16人	15人	19人	15人	76人	80.9%	4人	2人	2人	3人	7人	18人	19.1%
21	南篠崎	20人	23人	24人	48人	115人	18人	20人	18人	19人	19人	94人	81.7%	18人	17人	16人	16人	17人	84人	89.4%	0人	3人	2人	3人	2人	10人	10.6%
22	新田	18人	20人	20人	40人	98人	18人	19人	17人	17人	13人	84人	85.7%	15人	11人	14人	15人	12人	67人	79.8%	3人	8人	3人	2人	1人	17人	20.2%
22	宇喜田	17人	19人	25人	54人	115人	17人	20人	19人	21人	18人	95人	82.6%	14人	16人	14人	17人	13人	74人	77.9%	3人	4人	5人	4人	5人	21人	22.1%
	合計	465人	541人	614人	1272人	2892人	449人	509人	527人	529人	530人	2544人	88.0%	402人	414人	433人	446人	454人	2149人	84.5%	47人	95人	94人	83人	76人	395人	15.5%

2. 延長保育(登録数)

拠点名	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			合計			月平均登録数			月平均登録率			
	乳児	幼児	合計	乳児	幼児	合計	乳児	幼児	合計	乳児	幼児	合計	乳児	幼児	合計	乳児	幼児	合計	乳児	幼児	合計	乳児	幼児	合計	乳児	幼児	合計	乳児	幼児	合計	乳児	幼児	合計	乳児	幼児	合計	乳児	幼児	合計	乳児	幼児	合計				
1	葛西	2	6	8	4	6	10	3	6	9	3	6	9	3	6	9	3	5	8	3	5	8	3	5	8	3	5	8	3	5	8	3	6	9	36	66	102	3	6	9	7.1%	6.9%	7.0%			
2	新堀	1	5	6	1	5	6	1	5	6	1	5	6	1	5	6	1	5	6	1	6	7	0	6	6	0	6	6	0	6	6	0	6	6	8	65	73	1	5	6	1.7%	8.3%	5.8%			
3	東小松川	0	7	7	0	7	7	0	7	7	0	7	7	1	7	8	1	7	8	2	7	9	3	7	10	3	7	10	4	7	11	4	7	11	21	84	105	2	7	9	4.5%	10.1%	8.1%			
4	鹿骨	1	4	5	1	4	5	1	4	5	1	4	5	1	4	5	1	5	6	1	5	6	1	5	6	1	5	6	1	5	6	1	5	6	12	55	67	1	5	6	2.1%	5.8%	4.4%			
5	北葛西	3	3	6	3	3	6	3	3	6	3	3	6	2	3	5	3	4	7	3	4	7	3	4	7	3	4	7	3	4	7	3	4	7	35	43	78	3	4	7	6.2%	4.7%	5.2%			
6	葛西第二	0	5	5	0	5	5	0	5	5	0	5	5	0	6	6	0	5	5	1	7	8	1	7	8	1	7	8	1	8	9	2	8	10	7	76	83	1	6	7	1.5%	9.9%	6.7%			
7	春江	1	6	7	2	6	8	2	6	8	2	6	8	2	6	8	2	7	9	2	7	9	2	7	9	3	7	10	3	5	8	3	5	8	27	73	100	2	6	8	4.8%	6.8%	6.1%			
8	東小岩	1	2	3	1	2	3	2	2	4	2	2	4	2	2	4	2	2	4	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	1	3	22	18	40	2	2	3	4.8%	2.4%	3.3%			
9	西篠崎	2	6	8	1	6	7	1	6	7	1	6	7	2	6	8	1	6	7	1	6	7	1	7	8	1	6	7	1	6	7	1	8	9	14	77	91	1	6	8	2.7%	9.3%	6.7%			
10	西小岩	7	15	22	7	15	22	7	15	22	7	15	22	8	17	25	8	17	25	8	17	25	9	16	25	10	17	27	10	17	27	10	17	27	101	195	296	8	16	25	15.0%	17.5%	16.6%			
11	松江	2	4	8	2	6	8	2	6	8	2	6	8	2	7	9	2	7	9	2	7	9	2	7	9	2	7	9	2	6	8	2	6	8	24	80	104	2	7	9	5.4%	9.5%	8.1%			
12	松本	1	4	5	3	7	10	2	5	7	2	6	8	2	5	7	2	6	8	2	6	8	2	6	8	2	6	8	2	6	8	2	6	8	24	69	93	2	6	8	4.8%	7.4%	6.5%			
13	清新	1	9	10	2	9	11	2	11	13	3	12	15	3	12	15	3	14	17	3	14	17	3	14	17	2	12	14	2	12	14	2	12	14	28	143	171	2	12	14	5.3%	17.3%	12.6%			
14	小松川	0	6	6	0	6	6	0	7	7	1	7	8	1	6	7	1	7	8	1	7	8	1	6	7	1	7	8	0	6	6	0	5	5	0	6	6	6	76	82	1	6	7	1.3%	9.7%	6.6%
15	南葛西	3	10	13	3	10	13	3	9	12	4	9	13	4	9	13	4	9	13	4	9	13	4	9	13	5	11	16	5	11	16	5	11	16	48	116	164	4	10	14	10.0%	14.6%	12.9%			
16	西葛西	2	5	7	2	6	8	2	6	8	2	6	8	2	5	7	2	5	7	2	6	8	2	6	8	3	6	9	4	7	11	4	7	11	31	72	103	3	6	9	5.7%	8.7%	7.5%			
17	中葛西	1	5	6	1	4	5	1	4	5	1	4	5	1	4	5	1	4	5	1	4	5	1	4	5	1	4	5	1	4	5	1	3	4	12	48	60	1	4	5	2.2%	5.5%	4.2%			
18	松島	1	7	8	2	7	9	2	7	9	2	7	9	2	8	10	2	8	10	2	8	10	1	8	9	1	8	9	1	8	9	1	8	9	18	92	110	2	8	9	3.9%	12.4%	9.2%			
19	清新第二	2	4	6	2	4	6	2	4	6	2	4	6	2	4	6	2	4	6	2	5	7	2	5	7	2	5	7	4	2	6	4	2	6	4	30	45	75	3	4	6	6.0%	5.9%	5.9%		
20	北小岩	1	3	4	3	4	7	3	4	7	3	4	7	3	4	7	4	3	7	3	4	7	3	4	7	3	4	7	3	4	7	3	4	7	35	46	81	3	4	7	8.8%	6.3%	7.2%			
21	南篠崎	1	1	2	1	1	2	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	3	4	1	3	4	1	3	4	1	3	4	1	2	3	1	2	3	12	26	38	1	2	3	2.6%	3.9%	3.4%			
22	新田	1	7	8	1	5	6	1	5	6	1	6	7	1	5	6	1	5	6	1	5	6	1	6	7	1	5	6	1	6	7	1	6	7	12	66	78	1	6	7	2.7%	11.7%	7.7%			
23	宇喜田	2	4	6	2	4	6	2	4	6	2	4	6	2	3	5	3	3	6	3	3	6	3	3	6	3	3	6	4	4	8	4	4	8	35	44	79	3	4	7	7.9%	6.3%	6.9%			
合計/平均		36	128	166	44	132	176	43	133	168	46	137	183	48	136	184	50	141	182	51	145	196	52	146	198	54	145	199	57	141	198	56	143	201	59	144	203	598	1675	2273	50	140	189	5.1%	8.7%	7.3%

3. 子育てひろば、保育所体験 ※子どもの数のみ

拠点名	子育てひろば参加人数													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
1	葛西	3人	0人	7人	10人	10人	10人	6人	3人	4人	1人	6人	0人	60人
2	新堀	0人	4人	5人	7人	7人	7人	8人	5人	3人	6人	4人	3人	59人
3	東小松川	2人	4人	0人	12人	2人	5人	3人	5人	2人	6人	7人	7人	55人
4	鹿骨	0人	6人	5人	8人	0人	0人	0人	2人	5人	8人	8人	2人	44人
5	北葛西	1人	1人	1人	5人	4人	12人	16人	11人	4人	7人	5人	1人	68人
6	葛西第二	0人	9人	15人	21人	6人	19人	15人	10人	13人	11人	23人	2人	144人
7	春江	1人	8人	6人	10人	6人	11人	8人	6人	12人	8人	13人	11人	100人
8	東小岩	0人	0人	3人	3人	7人	5人	12人	1人	4人	3人	3人	2人	43人
9	西篠崎	0人	1人	2人	4人	1人	5人	4人	1人	1人	1人	2人	0人	22人
10	西小岩	1人	3人	6人	1人	4人	6人	10人	3人	9人	3人	6人	6人	58人
11	松江	0人	2人	5人	1人	2人	5人	0人	4人	7人	1人	3人	2人	32人
12	松本	1人	2人	3人	4人	4人	8人	13人	3人	3人	11人	4人	2人	58人
13	清新	3人	6人	3人	5人	3人	2人	11人	9人	5人	5人	10人	8人	70人
14	小松川	0人	0人	3人	1人	2人	2人	0人	5人	4人	7人	3人	3人	30人
15	南葛西	0人	3人	6人	6人	9人	6人	17人	2人	2人	3人	5人	5人	64人
16	西葛西	5人	3人	6人	18人	7人	6人	2人	6人	1人	17人	13人	15人	99人
17	中葛西	0人	1人	11人	8人	8人	7人	7人	5人	6人	7人	12人	3人	75人
18	松島	3人	1人	4人	10人	14人	14人	14人	4人	12人	10人	9人	14人	109人
19	清新第二	1人	5人	6人	0人	4人	4人	11人	4人	11人	14人	12人	7人	79人
20	北小岩	0人	0人	1人	2人	3人	8人	17人	10人	4人	4人	13人	10人	72人
21	南篠崎	2人	1人	10人	15人	12人	17人	10人	8人	8人	12人	6人	7人	108人
22	新田	2人	3人	10人	3人	4人	5人	3人	0人	4人	4人	3人	5人	46人
23	宇喜田	3人	8人	2人	4人	3人	5人	2人	1人	2人	5人	2人	2人	39人
合計		28人	71人	120人	158人	122人	169人	189人	108人	126人	154人	172人	117人	1534人

拠点名	保育所体験参加人数 ※サービス推進費子どものみ													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
葛西	0人	0人	0人	10人	0人	0人	6人	0人	4人	0人	6人	0人	26人	
新堀	0人	2人	4人	7人	7人	7人	8人	3人	1人	6人	4人	1人	50人	
東小松川	2人	4人	0人	12人	2人	5人	3人	5人	2人	6人	7人	7人	55人	
鹿骨	0人	0人	0人	6人	11人	5人	10人	2人	0人	0人	0人	0人	34人	
北葛西	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
葛西第二	0人	7人	12人	15人	4人	14人	7人	5人	10人	4人	15人	2人	95人	
春江	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
東小岩	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
西篠崎	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
西小岩	1人	3人	6人	1人	4人	6人	10人	3人	9人	3人	6人	6人	58人	
松江	0人	2人	5人	1人	1人	5人	0人	4人	7人	1人	2人	2人	30人	
松本	1人	2人	3人	4人	4人	8人	13人	3人	3人	11人	4人	2人	58人	
清新	0人	0人	0人	8人	0人	0人	5人	0人	5人	4人	3人	9人	34人	
小松川	0人	0人	7人	2人	4人	4人	0人	9人	7人	14人	6人	4人	57人	
南葛西	0人	3人	6人	2人	7人	5人	14人	2人	2人	2人	3人	3人	49人	
西葛西	0人	0人	0人	0人	0人	0人	2人	1人	12人	0人	0人	0人	15人	
中葛西	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
松島	2人	1人	2人	5人	7人	7人	7人	2人	6人	5人	5人	7人	56人	
清新第二	0人	0人	0人	0人	1人	0人	5人	0人	4人	3人	0人	0人	13人	
北小岩	0人	0人	1人	2人	2人	5人	15人	5人	1人	1人	7人	8人	47人	
南篠崎	2人	1人	10人	14人	12人	17人	10人	7人	7人	10人	6人	6人	102人	
新田	2人	3人	10人	2人	4人	5人	3人	0人	4人	4人	3人	5人	45人	
宇喜田	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
合計		10人	28人	66人	91人	70人	93人	118人	51人	84人	74人	77人	62人	824人

4、感染症(登園許可書毎数)※インフルエンザはA、B同一とする

拠点名	1	枚数	2	枚数	3	枚数	その他	枚数	合計
1 葛西	手足口病	32	伝染性紅斑	20	急性胃腸炎	18	ヒトメタニューモ、溶連菌感染症、インフルエンザ、ヘルパンギーナ、りんご病 等	54	124
2 新堀	伝染性紅斑(りんご病)	35	手足口病	33	インフルエンザ	15	溶連菌感染症、感染性胃腸炎、マイコプラズマ肺炎、咽頭結膜炎 等	21	104
3 東小松川	手足口病	43	インフルエンザ	26	溶連菌	17	感染性胃腸炎、流行性角結膜炎、伝染性紅斑、アデノウイルス、ヘルパンギーナ 等	42	128
4 鹿骨	手足口病	28	伝染性紅斑(りんご病)	22	インフルエンザ	19	感染性胃腸炎、マイコプラズマ、ヘルパンギーナ、溶連菌感染症、ヒトメタニューモウイルス 等	28	97
5 北葛西	手足口病	82	インフルエンザ	33	りんご病	16	感染性胃腸炎、溶連菌、マイコプラズマ肺炎、RSウイルス 等	30	161
6 葛西第二	手足口病	75	伝染性紅斑	23	溶連菌感染症	15	インフルエンザ、水痘、アデノウイルス、ヘルパンギーナ、RSウイルス、感染性胃腸炎 等	36	149
7 春江	手足口病	55	インフルエンザ	34	溶連菌感染症	10	伝染性紅斑、感染性胃腸炎、アデノウイルス感染症、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎 等	26	125
8 東小岩	手足口病	55	インフルエンザ	28	感染性胃腸炎	17	ヘルパンギーナ、溶連菌感染症、水痘、アデノウイルス、りんご病、流行性耳下腺炎 等	23	123
9 西篠崎	手足口病	62	インフルエンザ	12	溶連菌感染症	8	感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ、マイコプラズマ感染症 等	13	95
10 西小岩	手足口病	47	溶連菌感染症	14	ヘルパンギーナ	5	感染性胃腸炎、プール熱 等	9	75
11 松江	手足口病	30	溶連菌感染症	21	インフルエンザ	13	RSウイルス感染症、ヘルパンギーナ、伝染性紅斑、感染性胃腸炎、水痘 等	15	79
12 松本	りんご病	23	手足口病	21	インフルエンザA	12	ヘルパンギーナ・感染性胃腸炎・溶連菌感染症・マイコプラズマ・アデノウイルス・RSウイルス	83	139
13 清新	手足口病	54	伝染性紅斑	26	感染性胃腸炎	15	マイコプラズマ感染症、溶連菌感染症、水痘、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱	33	128
14 小松川	手足口病	67	溶連菌感染症	42	RSウイルス	9	インフルエンザ、咽頭結膜熱、伝染性紅斑、ヘルパンギーナ、感染性胃腸炎 等	19	137
15 南葛西	手足口	53	伝染性紅斑	26	RSウイルス	19	インフルエンザ、溶連菌 等	19	117
16 西葛西	手足口病	54	溶連菌感染症	18	伝染性紅斑(りんご病)	17	インフルエンザ、咽頭結膜熱、細気管支炎、流行性角結膜炎、胃腸炎 等	25	114
17 中葛西	手足口病	106	溶連菌感染症	16	伝染性紅斑	16	インフルエンザ、胃腸炎、ヘルパンギーナ、RSウイルス、水痘、マイコプラズマ肺炎 等	54	192
18 松島	手足口病	28	インフルエンザ	10	溶連菌	9	りんご病、流行性結膜炎、感性的胃腸炎、ヒトメタニューモウイルス、ヘルパンギーナ 等	32	79
19 清新第二	インフルエンザ	31	手足口病	22	溶連菌感染症	8	RSウイルス、りんご病、マイコプラズマ肺炎、水疱瘡、咽頭結膜、胃腸炎 等	25	86
20 北小岩	伝染性紅斑	30	手足口病	25	インフルエンザ	19	溶連菌 感染性胃腸炎 RSウイルス 水痘 耳下腺炎 ヘルパンギーナ 等	42	116
21 南篠崎	手足口病	41	インフルエンザ	15	マイコプラズマ肺炎	15	溶連菌、伝染性紅斑、感染性胃腸炎、RS感染症、、コロナ、ヒトメタニューモウイルス 等	31	102
22 新田	手足口病	61	伝染性紅斑	28	急性胃腸炎	7	RSウイルス、マイコプラズマ、アデノウイルス、ヘルパンギーナ、水痘、溶連菌感染症 等	12	108
23 宇喜田	手足口病	43	感染性胃腸炎	19	溶連菌感染症	8	伝染性紅斑、アデノウイルス、ヘルパンギーナ、インフルエンザ 等	13	83
合計		1135		534		307		685	2661

5. AL、食事の配慮の必要(宗教等)

拠点名	AL申請児童数							主だったアレルギー	エピペン等預かり人数	
	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	在籍割合			
1	葛西	1人	3人	1人	2人	0人	7人	6.7%	甲殻類(エビ)、鶏卵、ごま、乳製品、魚卵	0人
2	新堀	1人	0人	0人	0人	1人	2人	2.1%	バナナ、鶏卵、甲殻類	0人
3	東小松川	1人	2人	0人	0人	0人	3人	3.3%	卵、乳	1人
4	鹿骨	2人	0人	0人	0人	0人	2人	1.9%	卵	0人
5	北葛西	0人	1人	0人	0人	0人	1人	1.0%	鶏卵	0人
6	葛西第二	1人	1人	1人	0人	1人	4人	4.7%	卵、小麦	0人
7	春江	0人	1人	0人	1人	0人	2人	1.8%	卵、りんご	0人
8	東小岩	1人	1人	0人	0人	1人	3人	3.4%	鶏卵	0人
9	西篠崎	1人	1人	0人	1人	0人	3人	3.1%	卵、乳、小麦、山芋	0人
10	西小岩	0人	0人	0人	0人	1人	1人	0.8%	鶏卵	0人
11	松江	2人	4人	1人	1人	2人	10人	11.0%	卵、乳、甲殻類、魚卵	1人
12	松本	0人	0人	1人	0人	2人	3人	2.5%	鶏卵、乳	0人
13	清新	1人	2人	0人	0人	0人	3人	3.0%	卵	0人
14	小松川	3人	1人	0人	0人	0人	4人	4.8%	卵、乳、小麦、ごま、バナナ	0人
15	南葛西	0人	1人	0人	2人	0人	3人	3.3%	鶏卵、乳	0人
16	西葛西	0人	0人	0人	0人	1人	1人	1.0%	エビ	0人
17	中葛西	1人	1人	2人	0人	0人	4人	3.9%	卵、魚、甲殻類、小麦	0人
18	松島	1人	0人	1人	1人	1人	4人	4.5%	鶏卵、牛乳、乳製品、魚類	0人
19	清新第二	1人	0人	1人	1人	0人	3人	3.3%	卵、小麦・乳、バナナ	1人
20	北小岩	0人	0人	0人	2人	0人	2人	2.6%	鶏卵、魚	0人
21	南篠崎	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0.0%	なし	0人
22	新田	0人	2人	0人	0人	0人	2人	3.0%	卵	0人
23	宇喜田	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0.0%	なし	0人
合計		17人	21人	8人	11人	10人	67人	3.1%		3人

拠点名	他食事の配慮児童数				主訴(宗教食他)	
	乳児	幼児	合計	在籍割合		
葛西	0人	1人	1人	0.8%	豚肉	
新堀	0人	0人	0人	0.0%	なし	
東小松川	1人	2人	1人	2.8%	お弁当対応(乳児) 刻んで対応(幼児)	
鹿骨	0人	0人	0人	0.0%	なし	
北葛西	0人	0人	0人	0.0%	なし	
葛西第二	0人	0人	0人	0.0%	なし	
春江	0人	0人	0人	0.0%	なし	
東小岩	2人	2人	4人	4.0%	乳糖不耐症	
西篠崎	0人	2人	2人	1.8%	刻み食、割れにくい食器	
西小岩	0人	0人	0人	0.0%	なし	
松江	1人	1人	2人	1.9%	(豚肉・牛肉・鶏肉・かぼちゃ・ナス・エビ)	
松本	1人	0人	1人	0.8%	宗教	
清新	1人	0人	0人	0.0%	豚肉	
小松川	3人	3人	6人	5.8%	宗教食	
南葛西	0人	2人	2人	1.9%	豚肉	
西葛西	0人	2人	2人	1.8%	宗教食・弁当持参	
中葛西	0人	0人	0人	0.0%	なし	
松島	0人	0人	0人	0.0%	なし	
清新第二	0人	0人	0人	0.0%	なし	
北小岩	0人	0人	0人	0.0%	なし	
南篠崎	0人	1人	1人	1.1%	豚肉	
新田	1人	1人	2人	2.4%	宗教食(除去食1・弁当1)	
宇喜田	0人	0人	0人	0.0%	なし	
合計		10人	17人	27人	1.1%	

6. 障害児(区申請)、保護家庭(児相、支援センター関連)

拠点名	障害児(区申請)					合計	園児割合	主だった主訴	
	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳				
1	葛西	1人	0人	0人	0人	3人	4人	3.3%	自閉症スペクトラム、発達遅滞
2	新堀	0人	1人	1人	1人	1人	4人	3.8%	自閉症スペクトラム、ダウン症、発達遅延
3	東小松川	1人	2人	1人	2人	1人	7人	6.5%	ダウン症、発達遅滞(言葉の遅れ、多動)、自閉症
4	鹿骨	0人	0人	1人	0人	2人	3人	2.4%	ダウン症、自閉症
5	北葛西	1人	0人	3人	3人	2人	9人	7.3%	自閉症スペクトラム、知的発達遅滞、脳血管障害
6	葛西第二	0人	0人	0人	3人	0人	3人	2.9%	自閉症 知的障害、自閉症スペクトラム
7	春江	0人	0人	0人	1人	1人	2人	1.5%	ADHD
8	東小岩	0人	0人	1人	0人	1人	2人	2.0%	自閉スペクトラム症
9	西篠崎	0人	0人	1人	1人	2人	4人	3.5%	ダウン症、言葉の遅れ、自閉症傾向・発達の遅れ
10	西小岩	0人	0人	1人	0人	0人	1人	0.7%	発達障害
11	松江	0人	0人	0人	2人	1人	3人	2.8%	ダウン症、自閉症の疑い、言葉の遅れ
12	松本	1人	1人	0人	1人	1人	3人	2.5%	多動傾向・言語コミュニケーション・特児
13	清新	0人	0人	3人	1人	3人	7人	2.0%	自閉症スペクトラム、言葉の遅れ、コミュニケーション取りづらい
14	小松川	0人	0人	1人	1人	2人	4人	3.8%	自閉症スペクトラムの疑い、言葉の遅れ
15	南葛西	0人	1人	0人	1人	1人	3人	2.8%	発達遅延、精神運動発達遅延、自閉症スペクトラム疑い
16	西葛西	0人	1人	0人	1人	1人	3人	2.6%	自閉スペクトラム症
17	中葛西	0人	0人	3人	0人	0人	3人	2.5%	発達遅滞
18	松島	0人	0人	1人	2人	0人	3人	3.0%	中度発達障害、感覚過敏、自閉傾向、発達の遅れ
19	清新第二	0人	2人	0人	2人	1人	5人	4.7%	ADHD、自閉症スペクトラム、発達遅滞
20	北小岩	0人	0人	2人	2人	2人	6人	6.4%	言語発達の遅れ、環境適応 多動傾向 自閉症スペクトラム
21	南篠崎	0人	0人	1人	0人	2人	3人	3.2%	自閉症スペクトラム、注意欠陥多動症、衝動性言葉の遅れ
22	新田	0人	1人	2人	1人	0人	4人	4.8%	ダウン症、自閉的傾向、精神発達地帯
22	宇喜田	0人	0人	0人	1人	3人	4人	4.2%	自閉症スペクトラム、言語発達障害、脳性麻痺による下肢障害
合計		3人	9人	22人	25人	30人	83人	3.3%	

拠点	保護家庭(児相、支援センター関連)					合計	主だった主訴
	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		
葛西	0人	0人	0人	0人	3人	3人	夫婦喧嘩(心理的虐待)にて通報、ネグレクト
新堀	0人	0人	3人	2人	3人	8人	両親の喧嘩、DV、子どもを叱る、叩く 等
東小松川	0人	0人	0人	0人	0人	0人	なし
鹿骨	0人	0人	0人	0人	0人	0人	他 見守り家庭あり
北葛西	0人	0人	0人	0人	0人	0人	なし
葛西第二	0人	0人	0人	0人	0人	0人	なし
春江	1人	1人	0人	0人	0人	2人	DV、夫婦喧嘩通報
東小岩	1人	0人	0人	1人	0人	2人	父DV
西篠崎	0人	0人	2人	0人	1人	3人	夫婦喧嘩、保護者から本児の兄弟への暴力の疑い
西小岩	1人	0人	0人	1人	1人	3人	虐待の恐れ
松江	0人	0人	0人	0人	2人	2人	母親のネグレクト、母自殺未遂の疑いあり
松本	0人	0人	0人	0人	1人	1人	夫婦不和
清新	0人	2人	0人	1人	0人	3人	子どもに手を挙げる、子どもの前で喧嘩他
小松川	0人	0人	0人	0人	0人	0人	なし
南葛西	1人	0人	0人	0人	0人	1人	子どもの前での夫婦喧嘩
西葛西	2人	0人	0人	1人	0人	3人	両親の喧嘩、園児の姉(小学生)に対する父の暴力
中葛西	0人	0人	0人	0人	0人	0人	なし
松島	0人	0人	0人	0人	4人	4人	ネグレクト
清新第二	1人	1人	0人	1人	0人	3人	次女へのDV、父親が母親に対してのDV
北小岩	0人	0人	0人	0人	0人	0人	なし
南篠崎	0人	0人	0人	0人	0人	0人	なし
新田	0人	0人	0人	0人	0人	0人	なし
宇喜田	1人	1人	1人	2人	2人	7人	ネグレクト
合計	8人	5人	6人	9人	17人	45人	

7. 事故件数(事故報告書数)

拠点名	事故報告書件数(通院)						通院をした怪我の内容
	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	
1 葛西	4	1	1	4	1	11	喧嘩トラブルにて引っ掻き傷、転倒(床にて滑る)。擦り傷。捻挫(巧技台より斜めに滑り落ち)。上唇小帯切(床を走り躓き口を打つ) 等
2 新堀	4	0	0	2	4	10	転倒して口をぶつけて歯茎と唇から出血。跳び箱から飛び降りて捻挫。 等
3 東小松川	2	3	0	4	1	10	転倒(おでこを打撲、歯をぶつける)。脱臼。耳垂裂傷 等
4 鹿骨	2	0	0	5	0	7	転倒した際に口元を打ち、歯のぐらつき。ボールを追いかけて衝突(脳震とう)。肘内障。挨拶したときに椅子に顔をぶつけて切創 等
5 北葛西	4	2	11	5	1	23	室内、戸外で転び歯をぶつける。等
6 葛西第二	1	1	1	3	2	8	肘内障、切り傷、歯の打撲 等
7 春江	1	5	1	0	0	7	打撲、脱臼、ひっかき 等
8 東小岩	0	1	2	1	1	5	室内でハンカチ遊びをしていて転倒、手が出ず下唇を床に打つ。 等
9 西篠崎	2	5	1	1	1	10	公園の固定遊具で遊んでいた時に転倒し打撲、転倒し歯の打撲、肘内障 等
10 西小岩	3	6	2	3	1	15	転倒し頭部を床にぶつけタンコブを作る 等
11 松江	0	0	2	1	1	4	ホール遊び中転倒。床が滑って顔をぶつけた口元を強打し、下唇が腫れ上歯茎より出血。 等
12 松本	1	5	8	4	4	22	上唇小帯断裂。捻挫。軽度歯肉裂傷。はさみによる切創。ひっかきによる擦過創。肘内障。歯の打撲。右まぶた切創。鼻の創傷。等
13 清新	1	4	7	2	4	18	転倒による上唇出血。歯の打撲。鼻の打撲。指骨折、顔の擦り傷や引っ掻き傷。肘内障 等
14 小松川	0	4	0	2	0	6	転倒し棚に前歯をぶつけた。靴箱に右眉横をぶつけ切り傷。転倒し後頭部を打撲。手のひらを蜂に刺された。紙が眼球にあたった。 等
15 南葛西	0	1	0	1	1	3	口唇裂傷 皮下血腫 等
16 西葛西	5	1	1	0	0	7	転倒し顔に擦り傷。歯茎から出血。転倒し机に目の上をぶつける。他児に指を噛まれ出血。鉄棒にぶつかり歯茎から出血。三輪車でバランスを崩し転倒。等
17 中葛西	0	1	0	1	1	3	転がったボールを両者が追いかけて接触。相手の額が本児の左頬とぶつかり青みと腫れが見られた。等
18 松島	0	0	1	3	2	6	転倒により歯をぶつける。熱性けいれん 等
19 清新第二	2	2	1	2	4	11	転倒による歯の打撲。トラブルによる裂傷。転倒による頭部の打撲。肘内障。指の打撲 等
20 北小岩	5	4	0	2	2	13	顎下切傷。口唇切傷。熱性けいれん。脱臼。外傷による歯牙破折。目打撲による結膜下出血。掌握創傷。唇噛傷 等
21 南篠崎	4	8	2	5	2	21	転倒し頭部打撲。跳び箱で開脚跳びし左手中指骨折、トラブルを止める為に職員が手を掴み肘内障。点眼薬の兄弟間での投薬間違い。等
22 新田	1	2	3	0	1	7	トゲが手に刺さる。前のめりに転倒し顎を切る。バランスを崩し打撲。小山から降りる際に転倒し前歯打撲。花壇の角にて左小鼻打撲。転倒し前歯打撲 等
23 宇喜田	0	0	1	2	1	4	擦傷。転倒による打撲 等
合計	42	56	45	53	35	231	

8. ヒヤリハットについて(園児に関するもの)

拠点名	ヒヤリハット(件数)			ヒヤリハットの内容
	乳児	幼児	合計	
1 葛西	30	27	57	ままごとキッチンを他児が倒し当りそうになった。縄跳びをしていて首に縄が巻き付けた。室内遊び時他児との関わりの中で嫌な事がありテラスに出て非常階段を降りようとしていた。等
2 新堀	88	43	131	靴のマジックテープが取れ、転びそうになった。室内を走り転倒した。室内乃棚の穴に指を入れ自力で抜けなくなった。等
3 東小松川	33	88	121	転倒しそうになった。アレルギー児が他の子のを食べようとした。室内にて衝突する。誤嚥誤飲あり。食べ物を詰まらせた。等
4 鹿骨	184	79	263	かみつき未遂。ポケットに手を入れて歩いていた。転倒。椅子の隙間に足を入れる。ビニール袋を被る。振り向きざまにぶつかりそうになる。砂場に異物。横断歩道で靴が脱げる。等
5 北葛西	116	51	167	公園遊具から落下しかけた。子ども同士が衝突しそうになった。子どもを置き去りにしそうになった。誤飲しかけた。等
6 葛西第二	54	89	143	転倒、衝突しそうになった。門、公園から飛び出しそうになった。アレルギートレーと皿の名前記入違い。プールカード見間違い。等
7 春江	126	227	353	階段で転倒しそうになる。前方不注意。異物を耳に入れようとした。ズボンの裾が長く転倒しそうになる。異物を口、鼻に入れようとした。バランスを崩して落下しそうになる、プールサイドを走る 等
8 東小岩	67	30	97	園庭で他児と衝突してしまいそうになる。扉をロックしていなかったため子どもが手をかけたときに閉まりそうになった。他児が座ろうとしている椅子を引いて転倒しそうになる。 等
9 西篠崎	41	78	119	生活場面、遊び場面の中で、子ども同士が夢中になって走るなどして衝突しそうになった。等
10 西小岩	201	162	363	他児や壁等に衝突しそうになる。扉に挟みそうになる。等
11 松江	98	85	183	椅子の座り方が悪く、転倒しそうになる。噛みつきやひっかきが起こりそうになる。職員の伝達ミス。園庭で危険箇所への侵入。等
12 松本	105	90	195	噛みつき。園内を走り衝突しそうになる。玩具や物を投げ、他児にあたりそうになる。色鉛筆の先を相手に向ける。はさみの刃先が見えた状態で席を移動、バチを振り回そうとした。等
13 清新	454	147	601	転倒、衝突しそうになった。遊具等から転落落下しかけた。誤嚥・誤飲しかけた。情報共有不足。等
14 小松川	103	139	242	縄跳びを首に巻き付けた。木の枝をもって走る。異食未遂。床に落ちていた玩具に転倒。鋏をもったまま歩いた。噛みつきやひっかき。水遊び中にタライの中で溺れそうになった。等
15 南葛西	61	78	139	走ってぶつかりそうになった。棚の留め具が取れていた。散歩中の飛び出し。人数確認の漏れ 等
16 西葛西	107	188	295	廊下への飛び出し。玩具等を口に入れそうになった。高い所に上に立ち、バランスを崩して転倒しそうになった。玩具の入れ物に手をつけて、入れ物が顔面にあたりそうになった。等
17 中葛西	35	65	100	食材が口の中に残っている状態で布団に入っていた。口の動きで職員が気づき、眠る本児に危険なことを知らせると同時に午睡前は口内チェックを必ず行う。等
18 松島	33	68	101	転倒、転倒未遂。部屋、道路への飛び出し、口の中に物を入れる。玩具を投げる 等
19 清新第二	280	408	688	転倒しそうになった。不注意。誤飲誤食しかけた。衝突しそうになった。遊具から転落落下しかけた。子どもを置き去りにしそうになった。 等
20 北小岩	29	44	73	衝突、落下しそうになった。置き去りしそうになった。食具で刺そうとした。噛みつき未遂 誤嚥、誤飲しかけた。紐を首にかけて遊んでいた プール周りで滑った。環境要因で危険を感じた。等
21 南篠崎	103	73	176	玩具や場所の取りあいでの噛みつきや引っ掻き。鋏を持ったまま立ち歩く色水を飲もうとした、コーナーガードをかじる。防災頭巾の綿を取り丸めて鼻に詰めようとした、等
22 新田	58	80	138	テラスに子どもがまだいたことに気づかず閉めてしまった。プールの淵に立とうとしていた、危ないことを伝えた。毎回事前にしっかりと話をして確認していく。等
23 宇喜田	25	56	81	ヨーヨーすくいを手を伸ばした児のバランスを崩し転倒しそうになる。子どもが窓の開閉を行い、友達の手を挟みそうになった。等
合計	2431	2395	4826	

9.研修

※外部研修はWeb研修及び区主催、私立保育園園長会主催研修を含む

拠点名	園内研修		外部研修		法人必須研修参加人数
	園内研修回数	研修内容(具体的な内容を複数記載)	外部研修回数	研修参加人数	
1 葛西	11	命の尊さ、散歩マニュアル、嘔吐付着衣類について、計画書の書き方、AED研修、人権について、突然死症候群の理解と予防対策、防災、アレルギーを含む配膳について 他	32	34人	11人
2 新堀	11	不審者訓練、嘔吐研修、散歩研修、プール研修、AED研修、養護研修、人権擁護・虐待研修、おもちゃ研修、BCP、誤嚥、SIDS 他	32	32人	17人
3 東小松川	14	乳児の誤飲、乳幼児突然死症候群の理解と予防策、お散歩マニュアル、人権に関する研修・食事について(アレルギー児を含む配膳について)、エピペンとダイアアップ 他	17	19人	16人
4 鹿骨	15	人権擁護、保育目標と10の姿、嘔吐処理、応急処置、プールマニュアル、AED、散歩マニュアル、プライベートゾーン、保育環境、BCP・防災、土曜保育振り返りと見直し、他	20	39人	20人
5 北葛西	10	子どもの人権について、ヒヤリハット事例検証、防犯訓練と不審者対応、人的環境と物的環境、室内戸外遊びを知る 他	18	18人	18人
6 葛西第二	8	嘔吐処理、リズム、おんぶをしない保育、散歩、AED、プール、おもちゃ、人権擁護 他	18	20人	18人
7 春江	12	フォローアップ、命の尊さを知るについて、伝わる伝え方を学ぶについて、ジョブ・クラフティング、ビジネスマインド、なぜ共感力が必要とされるのかについて、防災研修 他	10	10人	17人
8 東小岩	24	SIDS、人権研修、不適切保育について、散歩マニュアル研修、嘔吐処理研修、AED、プール、プライベートゾーンについて、誤飲について、防犯不審者対応研修、外部研修報告 他	9	10人	14人
9 西篠崎	6	嘔吐処理、人権擁護、救急救命措置(AED)、防犯訓練、主体的な遊びを支援するための保育の役割について、保育安全計画、事業計画について・消火訓練 他	14	17人	17人
10 西小岩	11	保育の質の向上について、不適切な関りについて、災害について 他	16	16人	19人
11 松江	9	防災訓練、保育の質のガイドライン、保護者との関り、アタッチメントと子どもの発達、人的環境と物的環境、障害児保育、嘔吐処理、保育園の感染症 他	36	36人	16人
12 松本	6	AED研修(AEDの使用実技、心肺蘇生法、不審者対応訓練(さすまたの使用法、防犯対策、不審者対応、嘔吐処理、人権 他	40	40人	17人
13 清新	15	SIDS、誤飲について、プール遊び(AED含む)、人権擁護、散歩マニュアル、嘔吐、保護者対応、給食、生命の安全教育、食の支援 他	14	18人	15人
14 小松川	9	子どもの人権について、AED研修、不適切保育、不審者対応、消火訓練、遊びとおもちゃ環境、嘔吐処理、乳児身体の機能、散歩マニュアル 他	21	26人	16人
15 南葛西	12	嘔吐処理、人権擁護、プール、AED、散歩、SIDS 他	30	41人	16人
16 西葛西	22	食事、誤飲誤嚥、SIDS、人権、嘔吐下痢対応、防災関係、プール水遊び、食物アレルギー、エピペン、噛みつき、乳児の運動遊び、子どもへの声掛け、不審者対応/絵本 他	22	29人	16人
17 中葛西	13	給食について、嘔吐処理、AED、エピペンの使い方、SIDS、アレルギー対応、散歩マニュアル、人権擁護、プールマニュアル、消火訓練、不審者対応訓練 他	31	31人	16人
18 松島	7	嘔吐処理、AED研修、プール水遊びについて、命の尊さについて、自園内公開保育 他	17	20人	15人
19 清新第二	12	AED研修、子どもの人権研修、誤飲研修、室内集団遊び研修、アタッチメント研修、絵本研修、防災研修、ソーシャルスキル研修、おもちゃ研修、伝わる伝え方を学ぶ 他	12	12人	15人
20 北小岩	9	嘔吐処理、食事について(誤飲対応)、AED・消火訓練、エピペン研修、リズム研修、命の大切さについて、人権擁護 他	20	45人	15人
21 南篠崎	15	アレルギー、SIDS、散歩について、嘔吐処理、応急救護(AED)研修、プールマニュアル、消火訓練、人権に、不適切保育、子どもの主体性を育む保育、絵本おもちゃ研修 他	30	36人	16人
22 新田	11	人権について、乳幼児突然死症候群、食事(アレルギー)、散歩、AED、プールと水遊び、嘔吐処理、誤飲、人権を考える、遊びとおもちゃ 他	14	14人	15人
23 宇喜田	11	散歩、SIDS、人権、給食、AED、嘔吐、誤飲、避難訓練、命の大切さ、玩具、防犯 他	8	10人	15人
合計	273		481	573人	370人